

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 4 月 6 日

要請番号(JL 006 - 10 - B - 14)		調査者名: 間澤 友紀子		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期 JOCV/SV 日系/短期等
インドネ シア	職種 日本語教師 (コード 6852) 指導科目 日本語教師	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 23 / 1
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英) Japanese Language Instructor			2 23 / 2
				年 月 から
プログラム番号・名 インドネシア その他プログラム		プロジェクト名		
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) インドネシア国家警察 (受入機関名)(英語) Police Headquarter of Indonesia			
	2) 配属先名 (日本語) 警察語学学校 (英語) Language School for Police			
	3) 任地 東ジャカルタ 首都(ジャカルタ)から 東 方向 20 Km 主要都市(ジャカルタ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) インドネシア国家警察が運営している語学学校であり、対象は現職警察官である。英語、仏語、中国語、アラビア語のコースが設けられており、日本語のコースが2009年1月に新設された。英語は豪州連邦警察、仏語は仏文化交流協会、中国語は在留中国人、アラビア語はアラブ協会の支援を受けている。インドネシア国家警察は、JICA国家警察改革支援プログラムの支援を受けている。			
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在、国家警察は外国人が安心して住める町づくりを目指しており、安全サービス向上のため警察官に外国語習得を義務付けている。当国では在留邦人が増加傾向にあり、バリ島を訪れる日本人観光客も年間30万人以上であるため、日本語コースが新設された。同校では3ヶ月の基礎語学教育プログラムを設けており、学習時間も総計540時間と、集中して学習すれば、日本語検定2級取得が可能であるほどの時間が確保されている。しかしながら講師陣のレベルがまだ低いため、学習者は4級にも満たないレベルで終了している。このためネイティブスピーカーによる指導、シラバス、カリキュラムの改正、教材の見直し等が必要とされ、今回の要請に至った。			
	2) 期待される具体的業務内容 1) 講師陣の日本語教育に関する技術・知識を向上させる。 2) 警察官への日本語の指導(日本人の習慣、文化紹介を含む) 3) シラバス、カリキュラム改善におけるアドバイス。 4) 副教材の作成。			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、インターネット、コピー機、テレビ、DVD			
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 日本語教師4名、(女性3名、20代後半~30代前半、日本語検定3から4級レベル)		5) 業務使用言語 ● インドネシア語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・性別 女性 性別理由: 教師陣が女性のため ・学歴 大卒 学歴理由: ・経験 実務経験 2年以上 経験理由: ・日本語教授法 理由: 理由:			
活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車				x
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)				
概地 況域	気候(熱帯雨林) 気温(25~30℃位)		電気(☑安定 □不安定 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)			

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(JV 日青 SV BSV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 23 日

要請番号(JL 018 - 10- B- 01)

調査者名: 北井 澄枝

国名	職種 / 指導科目 (コード 6852)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
タイ	職種 日本語教師	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1	23 / 1	年 月 から
	指導科目			2	23 / 2	
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			3	/	

プログラム番号・名: 通商活動円滑化プログラム
 プロジェクト名:

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) 教育省基礎教育局
 (受入機関名)(英語) Office of the Basic Education Commission, Ministry of Education

2) 配属先名 (日本語) ブラックデーン ピッタヤコム中高校
 (英語) Pluakdaeng Phitthayakhom School

3) 任地 ラヨーン県ブラックデーン郡
 首都(バンコク)から 南東 方向 180 Km
 主要都市(ラヨーン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 同校は1972年に設立された公立中高一貫校で生徒約1900名、教師約70名が在籍している。外国語は英語、中国語、日本語があり、日本語は中学2年生と高校1年生から3年生までの約150名が学んでいる。同校の日本語教育は1993年より開始されているが、選択必修科目として本格的に開始されたのは2006年。1名のタイ人教師により授業は週12コマと日本語クラブ週1コマが実施されている。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同校のタイ人教師は、国際交流基金の日本語教師養成講座(10か月)の研修を2008年に修了しているが、日本語教師としての経験はまだ浅く(英語教師経験は13年)、日本語会話もそれほど流暢ではない。校長が教育熱心で、かつ、教師も意欲的であり、同校での日本語教育の充実を図るため今回の要請となった。
 ボランティアはタイ人教師とともに、日本語の授業、日本語クラブにおいて生徒に直接指導することに加え、タイ人教師の日本語能力向上に協力することが求められている。

2) 期待される具体的業務内容

- 日本語の授業をタイ人教師とともに担当し、特に発音、漢字などの指導を行う。
- 日常の授業や日本語クラブ、また日本語キャンプ(文化祭)において、日本文化を紹介し、日本に対する理解と学習意欲を高める。
- 学生がスピーチコンテストに出場するための指導と協力を行う。
- 日常の会話や授業を通じて、同僚の日本語教師の日本語能力の向上を図る。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 テキスト「あきこと友だち」(国際交流基金バンコク日本語センター)、(副教材として)日本語の教え方スーパーキット(アルク)等、テレビ、パソコン

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 外国語教師13名の内、タイ人日本語教師1名、女性、30代、日本語会話レベル初級。
 外国籍教師は中国人ボランティア1名

5) 業務使用言語
 タイ語
 ()
 ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル:)
 (レベル:)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由: 大卒 学校教師として必要なため
 経験理由:
 理由: 日本語教育を行うための必須条件
 理由:

活動用交通手段の必要性
 有 無 車輦 単車 自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度
 ×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 23 日

要請番号(JL 018 - 10 - B - 02)

調査者名: 北井 澄枝

国名	職種/指導科目 (コード 6852)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
タイ	職種 日本語教師	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Japanese Language Instructor			3	/
	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名: 通商活動円滑化プログラム
プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 教育省基礎教育局
(受入機関名)(英語) Office of the Basic Education Commission, Ministry of Education

2) 配属先名 (日本語) テップシリン ブッカエ中高校
(英語) Debsirin Phukhae School

3) 任地 サラブリ チャレンプラキアット郡
首都(バンコク)から 北 方向 110 Km
主要都市(サラブリ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
同校は1976年に設立された公立中高一貫校で生徒約2000名、教師約90名が在籍している。外国語は英語、中国語、フランス語、日本語があり、中学1年生から高校3年生までの約100名が日本語を学んでいる。同校の日本語教育は選択必修科目として2008年より開始されたばかりだが、2名のタイ人教師により授業は週26コマ、日本語クラブ週1コマが実施されている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
同校のタイ人教師(外国語学科長)は、国際交流基金の日本語教師養成講座(10か月)の研修を2008年に修了し、同校の日本語コースを立ち上げた。同教師は、元々は生物の教師で、日本語教師経験は浅いものの通常の日本語の授業だけでなく、日本語キャンプ(文化祭)や生徒の日本語スピーチコンテストへの出場、短期交流で生徒1名を日本に送り出すなど、生徒の育成に非常に熱心である。ボランティアは、同教師と協力して主に高校生の日本語の授業を行うとともに、イベントなどの課外活動に協力することが求められる。

2) 期待される具体的業務内容
・日本語の授業をタイ人教師と協力し、指導を行う(高校2年生には漢字、ホテルで使用する日本語、高校3年生には観光案内のための日本語と日本語能力検定4級取得のための指導を行う)
・授業や日本語クラブ、日本語キャンプ(文化祭)で日本文化を紹介し、日本に対する理解と学習意欲を向上させる。
・日常の会話を通じて、タイ人教師の日本語能力向上を図る。
・日本語関連の課外活動に協力し、生徒の育成に協力する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
テキスト「あきこと友だち」(国際交流基金バンコク日本語センター)、(副教材として)日本語の教え方スーパーキット(アルク)、「エリンが挑戦! にほんごできます。」(国際交流基金)などがある

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
外国語教師 名の内タイ人日本語教師2名。①男性、30代、外国語学科長、日本語能力検定2級。②女性、20代、日本語会話初級。英語兼任。外国籍教師はフィリピン人2名、米国人1名、中国人1名、カメルーン人1名

5) 業務使用言語
● タイ語
()
○ ()

6) 選考指定言語
☑ 英語 (レベル:)
□ (レベル:)

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
・学歴 大卒 学歴理由: 学校教師として必要なため
経験理由:
・日本語教授法 理由: 日本語教育を行うための必須条件
理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38°C 位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 23 日

要請番号(JL 018 - 10- B- 03)

調査者名: 北井 澄枝

国名	職種 / 指導科目 (コード 6852)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
タイ	職種 日本語教師	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Japanese Language Instructor			3	/
				年 月 日 から	

プログラム番号・名: 通商活動円滑化プログラム
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 教育省基礎教育局
 (受入機関名)(英語) Office of the Basic Education Commission, Ministry of Education

2) 配属先名 (日本語) ウィッチェンマツ 中高校
 (英語) Wichienmatu School

3) 任地 トラン市内
 首都(バンコク)から 南西 方向 850 Km
 主要都市(トラン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.2 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 同校は1915年に設立された公立中高一貫校で生徒約2500名、教師約110名が在籍している。外国語は英語、中国語、フランス語、日本語があり、日本語は高校1年生から3年生まで約75名が学んでいる。同校の日本語教育は2001年より選択必修科目として開設され、1名のタイ人教師により授業は週22コマ、日本語クラブ週1コマが実施されている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同校のタイ人教師は化学の教師であったが、日本への2年間の留学後、国際交流基金の日本語教師養成講座(10か月)の研修を修了し日本語教師となった。日本語会話レベルは中級。日本語教師歴は9年。教師と生徒の学習意欲が高く、日本語教育だけでなく、日本文化の紹介やそれに関わるイベントの実施協力が求められている。更に、タイ人教師自身も会話能力の向上を目指しており、日常会話を通じて助言が求められている。
 2009年5月から2010年3月まで、JENESYS若手日本語教師派遣プログラムにより、1名の日本人教師が活動を行っていた。

2) 期待される具体的業務内容
 ・日本語の授業をタイ人教師とチームティーチングで実施し、特に会話などの日本語指導を行う。
 ・授業や日本語クラブ、日本語キャンプ(文化祭)において、日本文化を紹介し、日本に対する理解と学習意欲を高める(折り紙、習字、歌、日本料理など)。
 ・学生がスピーチコンテスト出場するための指導と協力をを行う。
 ・タイ南部のタイ人日本語教師で組織されている「南部タイ日本語教師会」主催の日本語キャンプ(文化祭)に対する協力をを行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 テキスト「あきこと友だち」(国際交流基金バンコク日本語センター)、(副教材として)「みんなの日本語」(スリーエーネットワーク)「エリンが挑戦!にはんごできます。」(国際交流基金)などがある。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 外国語教師 名うちタイ人日本語教師1名、女性、50代、日本語会話レベル中級。
 外国籍教師は中国人ボランティア2名、フランス人1名

5) 業務使用言語
 ● タイ語
 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル:)
 (レベル:)

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 ・学歴 大卒 学歴理由: 学校教師として必要のため
 経験理由:
 ・日本語教授法 理由: 日本語教育を行うための必須条件
 理由:

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度
 ○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車 x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38℃℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 2 月 12 日

要請番号(JL 027 - 10 - B - 15)

調査者名: 志賀 龍

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ベトナム	職種 日本語教師 (コード 6852) 指導科目	○新規 ●交替 3 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			2	23 / 2
				3	23 / 3

プログラム番号・名: 日本語教育支援(ボランティアのみ) プロジェクト名:

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育訓練省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Training
	2) 配属先名 (日本語) ダナン大学外国語大学 (英語) University of Danang - College of Foreign Languages
	3) 任地 ダナン市 首都(ハノイ)から 南東 方向 800 Km 主要都市(ダナン市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同外国語大学は、国立ダナン大学の傘下であり、190余名の教員陣の下、約3,000名の学生が学ぶ、ベトナム中部地域における外国語および外国研究の拠点である。また、日本語・韓国語・タイ語学部の中にある日本語学士コースは、今年で開講6年目を迎えたばかりの比較的新しいコースである。学生数は150名程度であるものの、今後急速な学生数増加が見込まれ、同地の日本語教育の中核機関として注目されている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同大学では2003年から日本語学士コースを開講し、現在、JICAボランティア2名を含む10名の教員が教鞭を執っている。しかしながら、ベトナム人教員の大半は経験が浅く、さらに学生数の増加に伴い、2009年度も卒業生の中から新たに2~3名程度の採用が予定されており、教員の指導能力の強化が喫緊の課題となっている。本要請では、ネイティブの強みを活かした授業を担当するほか、主に教員能力強化を担うシニア海外ボランティア(2009年10月派遣予定)と協力しながら、同地域での日本語教育支援のための活動にも積極的に取組むことが期待される。	
	2) 期待される具体的業務内容 日本語コースの教員として、同僚教員及びシニア海外ボランティアと協力して以下の活動を行う。 ・ネイティブの強みを活かした会話、作文、高学年対象の文法(日本語能力試験2級程度)、音声の授業。 ・必要に応じた教材、カリキュラムの改善。 ・同大学と同じく中部地域に位置する、フエ大学外国語大学が共催する日本語スピーチコンテストの企画・運営支援。 ・2009年度よりベトナム中部地域で実施される日本語能力試験の運営支援。 ※教科書は1年生『みんなの日本語』、2年生『テーマ別中級から学ぶ日本語』、3年生『テーマ別上級で学ぶ日本語』 ※週16コマ(1コマ45分間)程度の授業を担当予定。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 CD・カセットプレーヤー、ビデオデッキ、プロジェクター等	

要 請 概 要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・学部長1名(女性/40代) ・学科長1名(男性/20代) ・ベトナム人教員6名(女性/20代) ・日本人非常勤講師1名(男性/20代) ※学科長は2008~2012年まで日本留学中	5) 業務使用言語 ● ベトナム語 () ○ その他 (日本語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
------------------	--	---	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・学歴 大卒	性別理由:
	・経験 実務経験 2年以上	学歴理由: 大学で教鞭を執るため
	・日本語教授法	経験理由: 活動上で必要 理由: 活動上で必要

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ○単車 ●自転車 生活上で必要			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯) 気温(15~40℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)
-----	--

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 1 日

要請番号(JL 033 - 10- B - 03)

調査者名: 臣川元寛

国名	職種/指導科目 (コード 6852)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
中華人民共和国	職種 日本語教師	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Japanese Language Instructor			3	23 / 3
	指導科目(英)				年 月 日 から

プログラム番号・名: 両国民の重層的交流支援
プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 湖北省科学技術庁
(受入機関名)(英語) Hubei Science and Technology Department

2) 配属先名 (日本語) 長江大学
(英語) Yangtze University

3) 任地 湖北省荊州市
首都(北京)から 南 方向 1200 Km
主要都市(武漢)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
2003年4月に教育部批准により、江漢石油学院、湖北農学院、荊州師範学院、湖北省衛生職工医学院が合併し、総合色の強い長江大学となる。校舎建築面積は121万㎡。固定資産13億元。体育館、総合訓練館、プール、サッカー場、テニス場などスポーツ設備も充実。教職員は3189名。アメリカ、イギリス、韓国、日本、ロシアなど39の高等教育機関と交流あり。専門家やボランティアなど外国の人的援助は特になし。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
2002年7月に日本語科が成立。2002年以来、日本語専門教員は数々の優秀賞を受け、学術論文を50編発表。全国日本語専攻4・8級試験や日本語能力検定において長く優秀な成績を収めている。本科生は国家級・省級のスピーチコンテストに何度か参加。2005年と2008年に1名の学生が湖北省スピーチコンテストで2等賞を獲得。卒業生の就職は幅広い。日本の愛媛大学と大学間の本科生交流協定締結、「3+1(3年間は中国国内で、1年間は留学)交換留学モデル」により、学生の新たな進路開拓に貢献。なお、荊州市は福島県会津若松市と友好都市提携がある。

2) 期待される具体的業務内容
1. 日本語の教学(大学2年生への作文指導)
2. 日本語の教学(大学1・2年生への口語会話)
3. 日本語コーナーや日本文化講座などの課外活動
個人契約の日本人教師が在籍するため、協力隊日本語教師との役割分担が必要。協力隊日本語教師に求められるのは日本人と中国人の相互交流。学生に対する課外活動だけではなく、現地人教師から求めがあればすぐに応じられるよう「教研室に居ること」も業務の一環。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
日本語科職員室(主任の職員室とは別室)、コンピューター、マルチメディア教室、コピー機、スキャナーなど。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
日本語科の教職員は15名。うち副教授1名、講師7名。うち7名は日本留学経験者。中には2009年度福島県国際交流員経験者(男性)も在籍。現在、個人契約の日本人教師が2名。

5) 業務使用言語
● 中国語
()
○ ()

6) 選考指定言語
☑ 英語 (レベル:)
□ (レベル:)

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:	
・学歴 大卒	学歴理由: 業務上不可欠な条件
	経験理由:
・日本語教授法	理由: 業務上不可欠な条件
	理由:

活動用交通手段の必要性
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度
x

* 研修等(H:障がい者施設研修, A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト, N:NGO)
* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能, x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(温帯) 気温(0~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 6 月 30 日

要請番号(JL 033 - 10 - B - 04)	調査者名: 中坊容子
------------------------------	------------

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
中華人民共和国	職種 日本語教師 (コード 6852)	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1	年 月 から
	指導科目			2	23 / 2	
	職種(英) Japanese Language Instructor			3	23 / 3	
	指導科目(英)					

プログラム番号・名	プロジェクト名
両国民の重層的交流支援	

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 安徽省科学技術庁 (受入機関名)(英語) Anhui Science and Technology Department
	2) 配属先名 (日本語) 安徽農業大学 (英語) Anhui Agricultural University
	3) 任地 安徽省合肥市 首都(北京)から 南 方向 1109 Km 主要都市(合肥市市中心部)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1928年創立の省重点大学。16学部を有する総合大学。総学生数25000人、教職員数1670人。外国語学院は2004年7月成立し、英語科、日本語科、フランス語科がある。日本語科は外国語学院の成立と同時にスタートし、現在までに161人の卒業生を送り出している。卒業生の進路は、国内の大学院進学、日本留学、日本企業就職、教師になるなど。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 学生の聞く・読む・書く能力を伸ばし、日本語教育のレベルを向上させる。隊員と教師・学生の交流により日中の相互理解をさらに深めるため、引き続き隊員要請がされた。前任隊員(21年度1次隊)は学校での活動のほか、地域の日本語教師会の事務局運営や、合肥市内派遣の他の隊員と協力して合肥日本祭りの開催などを行っている。なお、安徽省は高知県と、合肥市は福岡県久留米市と友好都市提携がある。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 授業: 会話・作文・視聴説(聞いて見て話す)中心 週12~16コマ予定/1コマは45分 2. 日本語コーナーの開催や学生の日本文化を知るための活動を指導 3. 中国人教師のサポート 4. 地域の日本語・日本文化活動への参加 前任は同僚教師と定期的な食事会を行い意見交換を行ったり、空き時間に中国人教師とコミュニケーションをとる工夫をしており、同僚の好評を得ていることから、後任にもこれらの活動が期待される。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 日本語科職員室、コンピューター、マルチメディア教室、プリンター		
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 中国人教師は9名(男3女6)20-50代。全員日本語能力試験1級。学生は18歳~23歳。ほぼ全員がゼロ初級開始。3年生の12月に能力試験1級合格が目標(現在は65%が合格)。	5) 業務使用言語 ● 中国語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (VA・N:) □ (VA・N:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴 大卒	学歴理由: 業務上不可欠な条件
	日本語教授法	理由: 業務上不可欠な条件

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(温帯気候) 気温(-5℃~35℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 6 月 30 日

要請番号(JL 033 - 10- B - 05)

調査者名: 中坊容子

国名	職種 / 指導科目 (コード 6852)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
中華人民共和国	職種 日本語教師	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Japanese Language Instructor			3	23 / 3
	指導科目(英)				年 月 日 から

プログラム番号・名: 両国民の重層的交流支援
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 貴州省科学技術庁
 (受入機関名)(英語) Guizhou Science and Technology Department

2) 配属先名 (日本語) 貴州師範大学
 (英語) Guizhou Normal University

3) 任地 貴州省貴陽市
 首都(北京)から 南 方向 2100 Km
 主要都市(貴陽市中心部)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 1941年創立の省の重点大学。18学部50学科の他に、修士課程・社会人コースがある。また、独立採算の「求是学院」も併設されている。本科学生数約17500人、大学院学生数約1600人、教師数約1390人。市内と郊外の2つのキャンパスがあり、両キャンパスははスクールバスで約30分の距離。2003年に日本の円借款事業で機材や校舎設備が導入された。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 日本語学科は2004年設立。日本語教育は、外国語学部日本語学科、英語学科(第二外国語)、求是学院で行われている。日本語教育が始まって間もなく、日本語教育の発展のため、引き続き隊員が要請された。隊員は日本語学科の授業を担当する(英語学科の第二外国語の授業が入る可能性もあり)。日本語学科の現在の学生数は約150名。日本の福山大学と友好協定を結んでおり、毎年十数名が日本へ留学。
 現在派遣中の隊員は通常の授業のほか、学内日本語コーナーの開催・運営、日本語事務室の運営、地域の日本語コーナーへの参加などを行っている。

2) 期待される具体的業務内容
 1. 授業(主に会話・聴解・作文) 週10コマ~14コマ予定/1コマは50分
 2. 日本語コーナーの開催
 3. 日本文化講座などの課外活動
 授業だけでなく授業外での学生との交流を通して、中国人教師が苦手とする発音指導や自然な日本語表現の指導、また日本文化・現代日本社会の紹介などが期待されている。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 日本語科職員室、パソコン、マルチメディア教室、スキャナー、投影機。メイン教材『新編日語』。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 中国人日本語教師は7名、全員女性(20~30代)で能力試験1級合格。日本人日本語教師が1名(日中友好協会派遣の男性50代)。学生は大学生18歳~22歳、ゼロ初級から開始。

5) 業務使用言語
 ● 中国語
 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル:)
 (レベル:)

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 性別理由:
 ・学歴 大卒 学歴理由: 業務上不可欠な条件
 経験理由:
 ・日本語教授法 理由: 業務上不可欠な条件
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域
 気候(温帯気候) 気温(2℃~30℃℃位) 電気安定 不安定 なし
 電話インターネット可 通話可 不良 なし) 水道安定 不安定 なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 6 月 30 日

要請番号(JL 033 - 10- B- 06)

調査者名: 鈴木大介

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
中華人民共和国	職種 日本語教師 (コード 6852) 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			2	23 / 2
				3	23 / 3

プログラム番号・名: 両国民の重層的交流支援
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 黒龍江省科学技術庁
 (受入機関名)(英語) Heilongjiang Science and Technology Department

2) 配属先名 (日本語) 牡丹江大学
 (英語) Mudanjiang University

3) 任地 黒龍江省牡丹江市
 首都(北京)から 北東 方向 1200 Km
 主要都市(ハルビン)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 1983年設立(省政府批准)である牡丹江市唯一の3年制の総合短期大学。機械工程系、芸術系、外国語系(日本の学部にあたる)など10系と教養部(学部ではなく各系共通の基礎教育部門)2部等からなり、教職員数約550名、学生数約8000名を有する。日本語科がある外国語系には英語科、ロシア語科、韓国語科があり、ロシア語科と韓国語科には外国人教師が在籍。他国からの援助はない。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 外国語系(学部)日本語科は2008年に設立された新しい学科。中国人教師は6名(うち常勤4名)在籍、全員20代。常勤講師は全員日本語能力試験1級保持者であるが、訪日経験のある教師は1人のみ。学生数は1年生96名、2年生87名でそれぞれ3クラスずつであるが、2010年9月入学の新入生はさらに増える見込み。
 開学間もないため、教師の教授法の向上への協力のほか、実践する場が少ない学生への日本語応用力向上のため協力隊を要請し、学習意欲の向上や日本文化理解を深めたいと考えている。
 なお、黒龍江省は北海道、山形県、新潟県と、牡丹江市は滋賀県大津市と友好姉妹都市提携がある。

2) 期待される具体的業務内容
 1. 会話及び聴解の授業を担当 1週間16コマ予定/1コマは45分
 2. 会話を通じて教師の日本語レベルの維持・向上およびアドバイス
 3. 学生との交流を通じた日本文化の紹介
 4. スピーチコンテストや他のイベントを学生と一緒に企画
 ※ 現在、他に契約日本人教師はいない。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 日本語科職員室、コンピューター、マルチメディア教室、プリンターなど。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教師は中国人日本語教師6名(うち4名常勤)。常勤講師は日本語能力試験1級保持。主任も含め大学卒業間もないため若い教師陣。学生はほとんどがゼロ初級からの開始。	5) 業務使用言語 ● 中国語 () ○ ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル:) <input type="checkbox"/> (レベル:)
--	------------------------------------	---

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 ・学歴 大卒 学歴理由:業務上不可欠な条件
 経験理由:
 ・日本語教授法 理由:業務上不可欠な条件
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(亜寒帯気候) 気温(-32~32℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 9 日

要請番号(JL 054 - 10- B- 04)

調査者名:羽根岡 桂子

国名	職種 / 指導科目 (コード 6852)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インド	職種 日本語教師	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Japanese Language Instructor			3	23 / 3
	指導科目(英)				年 月 日 から

プログラム番号・名 0540000000020 プロジェクト名
 横断的課題(人材育成(人的交流を含む)・キャンシティディベロップメント)

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 人的資源開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Human Resource Development
	2) 配属先名 (日本語) アミティインターナショナルスクール バスンドラ校 (英語) Amity International School Vasundhra
	3) 任地 ウッタラプラデッシュ州ガジヤバード 首都(デリー)から 東 方向 22 Km 主要都市(デリー市内)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先はインド国内に35校を展開し、約40000人の生徒が学ぶ私立名門校グループの中の1校。2003年4月にデリー郊外に設立され、幼稚園から高校までの一環教育を行っている。総生徒数約2600名。日本語教育は2006年から導入し、現在6年生から9年生まで約90名の生徒が学習している。同校では語学教育はサンスクリット語と日本語からの選択になっており、日本語教育推進には熱心に取り組んでいる。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先現校長は来日経験があり、日本の文化や規律・精神などに対する関心が高く、日本語教育推進に力を入れている。現在6年生から9年生(12-15歳程度)まで約90名の生徒が学習しており、日本語授業は1コマ35分間で6・7・8年生が週4コマ、9年生が週6コマである。2010年4月から10年生にも日本語授業を実施することになっており、さらに日本語授業数は増加する予定である。しかし、インド人日本語教師は1名のみで昨年は日本での研修(2ヶ月半)を経験するなど熱意があるが、教師経験は浅く日本語能力も限られているため、教師の能力向上及び授業の質向上などを目標として今回の要請となった。		
	2) 期待される具体的業務内容 ① 同僚講師と共に日本語の授業を実施し、授業の改善に協力する(6年生から9年生まで週18コマ+10年生の授業) ② 生徒に日本事情、日本文化を紹介し、日本に対する理解と日本語学習意欲の増進を図る ③ 学内での日本に関するイベント等の企画、運営実施を支援する ④ 同僚講師の日本語及び日本語教授能力の向上を支援する		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教科書は国際交流基がインド政府を支援して作成された教科書「うめ」(6年生用)、「もも」(7・8年生用)を利用。9・10年生には「みんなの日本語1・2」を利用。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 女性1名、臨時講師、20代、日本語教師経験3年、日本語能力検定3級	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (ヒンディー語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・性別 女性	性別理由: 地域的特性のため(同僚が女性)
	・学歴 大卒	学歴理由: CPが大卒のため
	・経験 実務経験	経験理由: コース運営に不可欠
	・日本語教授法	理由: コース運営に不可欠
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(サバナ気候) 気温(5~45℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
	水道(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 9 日

要請番号(JL 054 - 10 - B - 05)

調査者名:羽根岡 桂子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
インド	職種 日本語教師 (コード 6852)	○新規 ◎交替 3 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 2	年 月 から
	指導科目			2	23 / 3	
	職種(英) Japanese Language Instructor			3	/	
	指導科目(英)					

プログラム番号・名 0540000000020 プロジェクト名
横断的課題(人材育成(人的交流を含む)・キャパシティディベロップメント)

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 人的資源開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Human Resource Development
	2) 配属先名 (日本語) ムンバイ大学ドイツ語学科 (英語) University of Mumbai, Department of Germany
	3) 任地 マハラシュトラ州ムンバイ 首都(デリー)から 南西 方向 1000 Km 主要都市(ムンバイ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ムンバイ大学は1857年設立の州立大学で、8学部+博士課程を含む18コースからなる。日本語コースは人文科学学部、言語関連14言語中のドイツ語学科に所属。同コースは2001-2002年学業年度から開始され、初級Ⅰ(1年間、100時間、日本語検定4級程度)、初級Ⅱ(1年間、100時間、同3級程度)、中級Ⅰ・Ⅱ(2年間、各100時間、同2級程度)があり、現地人講師と隊員各1名で運営されている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 日本語コース(公開講座)には、現在2代目隊員が配属され、現地人講師とともに上述3コースを運営している。現在活動中の隊員が配属された時点では初級Ⅰコースのみの運営であったが、隊員配属とともにコース数を増やし、現在中級コースの上のコースを設置、また学位取得可能なコースへの格上げをそれぞれ申請中である。3つのコースの学習者数は約60名。インド国内での日本語学習者数増加に伴い、同コースにも学生・社会人がコンスタントに登録している。その需要に反して、大学での日本語指導ができる現地人講師獲得は困難であり、大学側からネイティブ日本語教師派遣の継続を強く期待され、今回の要請となった。		
	2) 期待される具体的業務内容 ①現地人日本語教師とともに、日本語コースで現在授業が行われている3つのコース(初級Ⅰ、Ⅱ各2コマ/週、中級Ⅰ・Ⅱ各2コマ/週、1コマは90分)を担当する。授業は現地人教師とのTTではなく、それぞれ別に受け持つ。 ②今年度から開始予定の新しい2コース(会話、ビジネス日本語)を担当する。 ③日本事情・日本文化の紹介 ④日本語・日本文化関連行事への参加・協力 ⑤教材紹介や作成支援		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 マルチメディアプロジェクター、OHP、CDプレーヤー、PC 日本語教材として、初級Ⅰ・Ⅱ、中級Ⅰは「みんなの日本語」、中級Ⅱは「日本語90日」利用。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚教師1名:女性、40歳代、日本語検定1級、指導経験12年	5) 業務使用言語 ◎ 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (ハール:) □ (ハール:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・学歴 大卒	学歴理由: 大学での指導であり同僚が大卒以上のため
	・経験 実務経験 2年以上	経験理由: 活動上必要不可欠
	・日本語教授法	理由: 活動上必要不可欠
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(モンスーン) 気温(15-40℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 8 月 10 日

要請番号(JL 054 - 10- B - 06)

調査者名:羽根岡 桂子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
インド	職種 日本語教師 (コード 6852)	○新規 ◎交替 3 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 2	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			2	23 / 3	
		3	/			

プログラム番号・名 0540000000020 プロジェクト名
横断的課題(人材育成(人的交流を含む)・キャンパシティディベロップメント)

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 人的資源開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of human Resource Development
	2)配属先名 (日本語) デリー大学社会科学部東アジア研究科 (英語) Faculty of Social Sciences, Department of East Asian Studies
	3)任地 デリー 首都(デリー)から 北 方向 0 Km 主要都市(デリー市内)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同研究科は1964年に中国研究センターとして設立され、現在、日本語・中国語・韓国語のコースを持つ他、各国の文化、経済等の研究も行っている。現在日本語コースは5コースあり、隊員は主に入門初級コースとMA入学準備コース授業の一部を担当している。授業生徒数総計約200名。2000年までは国際交流基金の専門家が常駐していたが、現在は短期での支援を行っているのみ。学科の事業予算は5年間で約2000万円。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在派遣中の隊員により、①会話力の向上、②日本文化に関する情報提供への期待、③日本語ネイティブ教師の存在による日本語学習環境整備と生徒のモチベーション向上、④年々増加する日本語学習希望者への対応などの面がカバーされつつある。現在4名の常勤教師と2名の非常勤教師によって6コースが運営されており、この6名の教師たちはいずれも日本語検定1級または相当の実力を持っているが、ネイティブ日本語教師の存在は、インドでの日本語教育の最高学府の一つである同学科にとってはその教育内容を一層充実させるために必要であり、今回の後任要請となった。		
	2)期待される具体的業務内容 ・日本語コースの授業担当(主に初級レベル、デリー大学の4つのカレッジでMA入学準備コース(パートタイムコース)の授業を担当する可能性が高い) ・学生・教師の会話力の向上支援 ・学生・教師に対する日本文化や日本事情紹介		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 初級レベルではデリー大学で編集された「Teaching Japanese 1,2」が利用されている。ビデオ・DVDやNHKワールド(英語)放送も視聴できる視聴覚ラボあり。		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 常勤教師:女性2名、男性2名 いずれも40-50歳代 日本語教師歴1~30年 非常勤教師:女性2名、20-40歳代、日本語教師歴1-6年 学生:18-25程度、初級	5)業務使用言語 ◎ 英語 () ○ (ヒンディー語)	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・学歴 大卒	性別理由:
	・経験 実務経験 2年以上	学歴理由: 大学で教師としての活動には不可欠
	・日本語教授法	経験理由: 活動に必要不可欠
		理由: 活動に必要不可欠
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(サバケ気候) 気温(5~45℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 8 月 10 日

要請番号(JL 054 - 10 - B - 07)

調査者名: 羽根岡 桂子

国名	職種/指導科目 (コード 6852)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インド	職種 日本語教師	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 2
	指導科目			2	23 / 3
	職種(英) Japanese Language Instructor			3	/
	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 0540000000020 プロジェクト名
横断的課題(人材育成(人的交流を含む)・キャパシティディベロップメント)

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 人的資源開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Human Resource Development
	2) 配属先名 (日本語) アンナ大学英語学科 (英語) Department of English, Anna University
	3) 任地 チェンナイ 首都(デリー)から 南 方向 1,700 Km 主要都市(チェンナイ市内)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同大学は、学生数1万人を超える州立の工科大学。工科大学だが学生の約4割は女子学生である。1978年に、4つの工 科系カレッジが統合し現在のアンナ大学となった経緯がある。特に海外の大学、研究機関との連携には力を入れており、 学内にはCentre for International Affairsを設立している。英語学科の管轄下に独、仏、日本語のコースが学部生のオブ ション科目として設けられている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 前任者である初代隊員が、従来から実施されていた学部生対象の0初級コースの内容拡大と質の改善の必要性を働きか けた結果、現在同コースが日本語会話能力向上とJLPT4級合格を目指した延べ100時間のコースに加え、30時間程度の JLPT用時間の設定が可能になり、現地人講師とともに2名体制で教える環境が整備されるなど改善が見られている。本要 請は、この流れを踏襲し、同コースの運営をより確固たるものにすると共に、同僚講師の日本語能力・教授能力の向上に 協力することを目的とし提出された。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・ 学部生対象の日本語コース(0初級)の授業を同僚講師と共に実施し、コースの質の改善、学生の日本語能 力向上、 同僚講師の日本語能力・日本語教授能力の向上に協力する。 ・ 学生の学習意欲増進を図るための日本文化紹介を行う。 ・ 効果的授業実施のための教材の紹介、作成を行う。 ・ 日本語能力検定試験対策への協力を行う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教科書は「みんなの日本語初級 I」を利用。その他みんなの日本語関連教材で、書いて覚える文型練習帳、書いて覚える 漢字練習帳、B4サイズ絵教材、聴解タスク25等が利用可。マルチメディアプロジェクター利用可。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 女性1名 臨時講師 30代	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・学歴 大卒	性別理由:
	・経験 実務経験	学歴理由: 配属先の意向による
	・日本語教授法	経験理由: コース運営に不可欠 理由: コース運営に不可欠
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(サバナ気候) 気温(10~45℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 3 月 15 日

要請番号(JL 057-10-B-04)

調査者名: 築山佳代子

国名	職種/指導科目 (コード 6852)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
モルディブ	職種 日本語教師	○新規	◎2年	1	23 / 1	
	指導科目 日本語教育			◎交替	2	23 / 3
	職種(英) Japanese Language Instructor				○1年	3
	指導科目(英) Japanese Language Instructor	13代目	○ヶ月			

年 月 から

プログラム番号・名 プロジェクト名

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) モルディブ高等教育短期大学観光学部 (英語) Faculty of Hospitality and Tourism Studies, Maldives College
	3) 任地 北マレ環礁マレ島 首都(マレ市内)から 北東 方向 0 Km 主要都市(マレ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同短期大学は1987年にUNDPとWHOの支援プロジェクトにより観光産業における人材育成のためのホテル・スクールとして設立された。現在、はモルディブ高等教育短期大学の一学部として組織、運営されている。年間約200名の学生が在籍している。年間予算は約3900万円(2009年)。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) モルディブへの日本人観光客は年間約4万人。観光業は当国産業のメイン産業の一つであり、日本人観光客へのサービス充実の点で日本語教育は不可欠なものとなっている。同短期大学への日本語教師派遣が約20年間継続しているのは、歴代の協力隊員の養成した現地人日本語教師が収入の高い観光業への転職が後を絶たず、長期間派遣せざるを得ない結果となっている。観光日本語の教授のみならず、質の高い大学での日本語教員育成を目標とし、現在日本語教師隊員が活動中。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・現地人教師に対し日本語教授法の指導を行う。 ・現地人による学部日本語コースの授業指導の評価を行い、対策勉強会を実施する。 ・現地日本語教授法シラバスの見直しを行う。 ・夜間に実施されている社会人のための日本語コース(1コマ2時間、週2回実施)の運営支援を行う。 ・モルディブにおける日本語教育振興のためのイベント等の支援を行う。(日本語能力試験、スピーチコンテスト等) ・現地の中学及び高校からの日本語講座開講の要望に対し、同僚の現地人日本語教師を派遣し、その指導法の支援、評価等を行う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コピー機、パソコン、CDラジカセ、ビデオ、プロジェクタ等		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚教師3名:35歳男性日検3級。国際交流基金日本語教師研修プログラム参加経験あり、22歳女性日検3級・同研修参加経験あり、22歳女性日検3級。学部学生17~25歳、社会人クラス9~50歳。	5) 業務使用言語 ◎ 英語 () ○ その他 (ディベヒ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・学歴 大卒	性別理由: 学歴理由: 高等教育機関での指導者となるため。
	・経験 実務経験 3年以上	経験理由: 高等教育教師を指導するため。
	・日本語教授法	理由: 高等教育の日本語教師育成をするため
	・講師に対する指導経験	理由: 高等教育の日本語教師育成をするため

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(熱帯モンスーン) 気温(25~35℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)		水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日育 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 8 日

要請番号(JL 112 - 10 - B - 01)

調査者名: 村上 隆幸

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マーシャル	職種 日本語教師 (コード 6852)	○新規	●2年	1	23 / 2
	指導科目			2	/
ル	職種(英) Japanese Language Instructor	●交替	○1年	3	/
	指導科目(英)			8 代目	○ヶ月

プログラム番号・名: 高等教育改善
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 教育省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Education

2) 配属先名 (日本語) マーシャル諸島短期大学
 (英語) College of the Marshall Islands (CMI)

3) 任地 マジュロ環礁ウリガ地区
 首都(マジュロ)から 北 方向 0 Km
 主要都市(マジュロ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 配属先は教育・教養・ビジネス・看護・職業訓練等の学部から成る同国の最高学府であり、近隣諸国からも学生を受け入れている。現在、設備拡充を条件に、暫定的に米国のWestern Association of School and College (WASC) の認定下に置かれている。全学生数は約600名(18~25歳)で教授が40名、その他スタッフは約100名。年間総予算は約600万ドル。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 歴史的な背景から日本語や日本文化は同国の人々にとって親しみやすく、日本語を学びたいと言う学生は多い。長年の隊員派遣により日本語教育は同学の一般教養課程の主要選択科目(単位認定科目)として定着しており、現在約40人が授業を受けている。しかし隊員に代わり得る現地日本語講師の誕生には至っておらず、日本語教育継続のため要請が提出された。同学は現地講師となり得る人材の発掘に前向きな姿勢を示しており、適任者が確保できれば現地講師の育成も求められる。また、複数の高校でも隊員派遣により日本語が履修されており、2005年以降、日本語履修校合同の日本語スピーチコンテストが日本大使館の協力により毎年開催されている。

2) 期待される具体的業務内容

- ・Japanese1,2,3クラス(入門、基礎、初級)と週1回のJapanese for Tourismクラスのコースデザインを行う。
- ・日本文化・習慣紹介を含めた授業運営、試験問題作成、評価を1学期間35~40時間実施する。
- ・日本国内の大学への交換留学プログラムを促進・実施する。
- ・高校生を含めたスピーチコンテストを企画・実施する。
- ・現地講師が確保できた場合は、教授法指導を行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 ノート型パソコン(Windows XP)、プリンター、TV、コピー機、OHP等。その他日本語教材多数。
 ボランティアには教員棟内にオフィス(個室)が与えられる。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現段階で日本語クラスに係る同僚はいない。 契約雇用による外国人教師が多数在籍している。	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
--	-----------------------------------	--

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:

・学歴 大卒 学歴理由: 配属先の要望

・経験 実務経験 3年以上 経験理由: 配属先の要望

・日本語教授法 理由:

理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(海洋性熱帯) 気温(28℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○ESV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 8 月 13 日

要請番号(JL 112 - 10- B - 06)

調査者名: 村上 隆幸

国名	職種 / 指導科目 (コード 6852)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マーシャル	職種 日本語教師 指導科目	○新規 ●交替 10 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			2	/
				3	/

プログラム番号・名: 高等教育改善
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 教育省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Education

2) 配属先名 (日本語) マーシャル諸島高校
 (英語) Marshall Islands High School

3) 任地 マジュロ環礁リタ地区
 首都(マジュロ)から 北 方向 0 Km
 主要都市(マジュロ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 マーシャル諸島高校は同国内にある5つの4年制(日本の中学3年生~高校3年生)公立高校の一つである。全校生徒数は800名で主に首都マジュロ環礁および周辺のミリ環礁やアルノ環礁からの生徒が学んでいる。教職員数は約60名で、現地教師の他、フィジーやフィリピン、アメリカ等からの契約教師が勤務している。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同国では、歴史的な経緯から日本は大変身近な国と捉えられており、国民性も政治的にも親日国である。そのため日本や日本語に興味を持つ学生は多く、日本語教育浸透や日本文化交流の観点から長年にわたって日本語教師が派遣されてきた。この友好関係は今後も継続すべきものであるが、残念ながら現地日本語教師の育成には至っておらず、引き続き隊員派遣が要請された。現在、同校において学習可能な第二外国語は日本語のみである。同校卒業後の進学先であるマーシャル短期大学や米国の大学では第二外国語の履修は必須であることから、進学の準備としての日本語習得の必要性も高くなっている。

2) 期待される具体的業務内容
 ・1日4~6時限(1時限50分)の日本語の授業を行う。担当学年は赴任後に配属先と協議の上で決定するが、生徒のレベルは初級程度のため、ひらがなの導入、挨拶や自己紹介、簡単な日常会話、日本の文化や習慣の紹介等の授業が中心となる。なお、クラス担任を任せられることもある。
 ・カリキュラム作成から授業運営、試験問題作成、評価に至る全てを独自で行う。
 ・日本語履修校を対象に年に1度開催される日本語スピーチコンテストの実施と運営に関わり、同校生徒の参加を支援する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 パソコン、プリンター、コピー機、印刷機

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長 男性 50歳代	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (マーシャル語)	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル:) <input type="checkbox"/> (レベル:)
--	---	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由:
 ・経験 実務経験 2年以上 経験理由: 配属先からの要望
 ・日本語教授法 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (●:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(海洋性熱帯気候) 気温(28℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 9 日

要請番号(JL 124 - 10 - B - 07)

調査者名: 白築 健

国名	職種/指導科目 (コード 6852)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パプア ニューギ ニア	職種 日本語教師 指導科目	○新規 ●交替 7 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			2	/
				3	/
				年 月 から	

プログラム番号・名 1240000000001 プロジェクト名
投資・貿易促進環境整備プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) サンダウン州政府 (受入機関名)(英語) Sandaun Provincial Administration
	2) 配属先名 (日本語) セントイグナシウス高校 (英語) St. Ignatius Secondary School
	3) 任地 サンダウン州アイトペ 首都(ポートモレスビー)から 北西 方向 860 Km 主要都市(アイトペ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.3 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ウエワクとパニモの間にある静かな町アイトペにあるカトリック系普通科男女共学高校。日本の中学3年から高校3年に相当する9学年から12学年の生徒を対象に中等教育を行っている。生徒数約500人、教員数約30人。生徒の多くが大学進学を目指している。年間予算は、60万キナ(約2100万円)。2002年には、オーストラリアより図書館や教員住宅建設の支援を受けている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校では、1999年に初代隊員を受け入れ、継続して6代にわたって日本語教育を行っている。日本語の特別教室があり、教材・教具もそろっている。日本語・日本文化に対する生徒や教職員の興味・関心も高い。同国では、まだ現地日本語教師が育っておらず、日本語クラス継続のため継続要請が上がった。日本語講座を持つパプアニューギニア大学やゴロカ大学への進学を意識した活動が求められる。
	2) 期待される具体的業務内容 校長や同僚教師の要望を聞きながら、次のような業務を進める。 1. 主に11年生、12年生の生徒を対象に、選択科目として初級日本語の授業を行う。 2. 試験の作成・実施・評価をはじめ、日本語クラス全体の運営を行う。 3. 日本語の指導のみならず、学校のニーズに応じて、日本文化・スポーツなどを指導する。 4. 他校や地域、教会などと連携し、必要に応じて日本語・日本文化講座を行う。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 日本語教材、ビデオ付テレビ、コピー機、教員用パソコン、プリンターなど

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教員 約30人 (日本語の指導者はいない)	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (ビジネ)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
--	--	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	・性別 男性 性別理由: 安全対策上
	・学歴 大卒 学歴理由: 高校へ配属されるため 経験理由:
	・日本語教授法 理由: 日本語を指導するため 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(熱帯雨林) 気温(25-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
------	--

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 2 日

調査者名: 藤田 久美子

要請番号(JL 227-10-B-03)

国名	職種 / 指導科目 (コード 6852)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エルサル バドル	職種 日本語教師 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			2	23 / 2
				3	23 / 3

年 月 日 から

プログラム番号・名 2278888888888 プロジェクト名
 その他(日本語教育)

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) 中米大学
 (受入機関名)(英語) Central American University

2) 配属先名 (日本語) 中米大学
 (英語) Central American University

3) 任地 サンサルバドル県サンサルバドル市
 首都(サンサルバドル市)から 北 方向 0 Km
 主要都市(サンサルバドル市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 中米大学は経済、社会科学、工学部などを1万人以上の学生が在籍している。2010年の年間予算は19,681,787ドル。中米大学付属語学学校は英語の公開講座を実施しており多くの中米大学に在籍する学生が学んでいる。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 15年以上にわたり国立エルサルバドル大学への日本教師隊員の派遣が行われてきたが、他の機関においても多くの日本語学習希望者がおり、更なる日本語教育の発展のためには現地人講師の養成が必要とされている。上記大学で歴代の隊員によって指導を受けた人がすでに中米大学において教えているが完全に一人立ちし、他の現地人講師を育成するようになるにはもう少し支援する必要があることから今回の要請に至った。

2) 期待される具体的業務内容
 1. 公開講座の年間指導計画作成及びその実施(試験作成と実施、評価、教材研究など)
 2. 現在クラスを担当しているエルサルバドル人教師への指導と育成
 3. イベントの企画運営(日本文化紹介、スピーチコンテスト等)

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 パソコン、テレビ、DVD、テープレコーダー、プロジェクター

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 市役所職員(防災担当)男性、30歳代
 コミュニティのリーダー、住民、小中学生等

5) 業務使用言語
 ● スペイン語 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル:)
 (レベル:)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由:
 経験理由:
 理由:
 理由:

・経験 実務経験 2年以上
 ・日本語教育能力検定試験合格
 ・日本語教師養成講座(420時間)修了

活動用交通手段の必要性

○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域

気候(亜熱帯気候) 気温(20-35℃位) 電気安定 不安定 なし
 水道安定 不安定 なし

電話(インターネット可 通話可 不良 なし)

平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 7月 9日

要請番号(JL 248-10-B-02)

調査者名: 佐藤 悦子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ニカラ グ ア	職種 日本語教師 (コード 6852) 指導科目	○新規 ●交替 10代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			2	23 / 2	
		3	23 / 3			

プログラム番号・名	プロジェクト名
-----------	---------

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 外務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Foreign Affairs
	2) 配属先名 (日本語) 中米大学人文学部外国語センター (英語) Central America University/Superior Language Center(CSI)
	3) 任地 マナグア県マナグア 首都(マナグア)から 北 方向 0 Km 主要都市(マナグア)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 外国語センターは英語・独語・伊語・仏語・日本語・西語コースを開講しており日本語コースは1日100分×週5(4)日×5(6)週間、計50時間で1レベル終了、2年弱で12レベル(みんなの日本語I・II終了レベル)を終了。受講料は1レベル40ドル。その他土曜日クラスや文化教室プログラムも実施している。2011年9月まで日本語教師隊員(21/2次隊・9代目)派遣中。春募集でもう1名(新規)を選考中。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国ではアニメ等の普及に伴い日本語学習希望者が増えてきている。配属先は現在当国で唯一日本語を学ぶことのできる機関で、無料の日本文化教室や国際文化親善フェスティバルを実施するなど日本(日本語・日本文化)への入り口としての役割を果たしている。前任者は集中日本語講座のほか現地人講師養成を開始している。今般隊員を2名体制にすることにより、コース数を増やし広く市民のニーズに応え日本語教育支援、日本文化紹介に資すること、また将来の日本語コースの主力となる現地人講師の育成をめざしている。
	2) 期待される具体的業務内容 1) 平日2時間(1クラス)の集中日本語講座を担当する。現地講師候補の学生とチーム・ティーチング形式で実施し、講師候補生に対するアドバイスを行う。 2) 1)のコース修了時には修了式の準備および修了生プレゼンテーションの指導を行う 3) 土曜日2時間の「日本文化教室」の運営を補助する。 4) 日本大使館主催の日本語スピーチコンテスト(2月予定)の運営、参加する学習者への弁論指導を行う。 5) 国際文化親善フェスティバル(10月予定)での日本文化紹介に協力する。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ラジカセ・TV・ビデオデッキ・コピー機

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ●センター長(男性)●コースコーディネーター(男性)●経理担当部長(女性)●学習対象者:高校生~社会人、1クラス10~15名程度、レベル:初心者~『みんなの日本語I・II』終了レベル/日能力試験3級程度	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
---	--------------------------------------	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	性別理由:
	学歴理由:
	経験理由: 業務遂行上必須(実習生への指導)

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(熱帯) 気温(25~35℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 2 月 23 日

調査者名: 藤元 直服

要請番号(JL 442 - 10- B - 15)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
シリア	職種 日本語教師 (コード 6852)	○新規 ●交替 6 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目 日本語教育			1	23 / 1	日系/短期等 年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	23 / 2	
指導科目(英) Japanese Language Education	3	23 / 3				

プログラム番号・名 4420000000006 プロジェクト名
基礎教育の拡充

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 高等教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Higher Education
	2) 配属先名 (日本語) ダマスカス大学言語学院 (英語) Damascus University Language Institute
	3) 任地 ダマスカス 首都(ダマスカス)から 西 方向 0 Km 主要都市(ダマスカス)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ダマスカス大学高等言語学院日本語科は1998年に設立され、シリアと日本の相互理解と学術交流を目的に、語学研究和教育を行っている。社会人が日本語(有料)と文化を学べる場として、言語学院の存在は大きい。これとは別に、2002年には同大学日本語学科が設立され、国際交流基金が専門家を派遣している。両者は協力して、日本フェアやスピーチコンテストを開催し、日本文化を紹介している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 高等言語学院日本語科は約50名の学生が在籍し、隊員・SV各1名と現地人教師2名の4人が日本語クラスを指導している。ボランティアは1人あたり週に2.5時間×6コマの授業(計約15時間)を担当し、シリア人講師は初級クラスを担当している。シリア人講師育成も活動目的のため、経験ある日本語教師の派遣が要請されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 シリア人を含む同僚と協力して以下の活動を行う。 1 高等言語学院の担当教授と定期ミーティングを持ち、日本語科の運営を行う。 2 授業の担当 3 11月に開催されるスピーチコンテストの企画・実施を他2機関(ダマスカス大学日本語学科、アレppo大学学術交流日本センター)と協力して行う。 4 春開催の日本フェアの企画・運営を学生と共に行う。 5 日本語受講体験コース(1ヶ月コース)の企画と運営を行う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 みんなの日本語(教材・CD・DVD)、副教材や日本語教育関連の書籍、辞書、日本語の雑誌、TV、ビデオデッキ、CDデッキ、白黒コピー機、小型カラープリンター、日本語入力可能なパソコン。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 高等言語学院学部長: 50代男性 日本語科担当教授: 40代女性	5) 業務使用言語 ● アラビア語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴理由:	
	・経験 実務経験 3年以上	経験理由: シリア人講師養成のため
・日本語教授法	理由:	
	理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、X:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(ステップ気候) 気温(5-40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 9 日

要請番号(JL 745 - 10 - B - 01)		調査者名: 新留 直子				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
キルギス	職種 日本語教師 (コード 6852)	○新規 ●交替 8 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目			1	23 / 1	日系/短期等 年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	23 / 2	
指導科目(英)	3	23 / 3				
プログラム番号・名 745000000007 プロジェクト名 市場経済化に資する人材育成プログラム						
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育科学省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Science					
	2) 配属先名 (日本語) キルギス民族大学 (英語) Kyrgyz National University					
	3) 任地 ビシケク市 首都(ビシケク市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ビシケク市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1951年設立のキルギスを代表する総合大学。日本語教師の活動先となる東洋学部は、日本語、中国語、韓国語、アラビア語等の学科から成り、日本語学科に2002年以降JICAボランティア7名(短期3名、長期4名)の派遣実績がある。またコンピュータ・インターネット学部には2008年から2名のSVが派遣中。同大学はJICAプロジェクト「キルギス日本人材開発センター(KRJIC)」のカウンターパート機関でもある。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 1991年の独立以降始まったキルギスの日本語教育界では、現地日本語教師の養成が進みつつあり、「キルギス日本語教師会」も活発に機能している。しかし、現地教師の多くは中上級レベルに留まるため、中上級レベルの学生(大学4・5年生)への通常授業、およびネイティブスピーカーとしての全学年学生への指導、弁論大会・留学試験等への対応には、日本人教師の助力がまだ求められている。同大学の日本人教師は、国士館大学からの実習生があたることもあるが、継続的にはJICAボランティアが1名のみである。現在21年度1次隊の隊員が活動中であり、今後も継続的支援が必要であり、今回の要請となった。					
	2) 期待される具体的業務内容 1. 東洋学部1~5年生の学生を対象に日本語・日本文化紹介授業を行なう(100分授業、週10コマ程度) 2. 余裕があれば他学部(第2外国語として現地教師が指導)学生を対象に日本語授業を行なう 3. カウンターパート現地教師の日本語能力向上を助ける 4. 日本語関連行事(中央アジア・CIS日本語弁論大会、作文コンクール、留学試験・訪日プログラム)へ向けた学生の指導を行なう 5. 「キルギス日本語教師会」へ積極的に関与し、他の教育機関の教師達と連携した活動を行なう 6. 日本語教師職種隊員が中心に形成しているJICA「日本語教育分科会」メンバーとしても活動する					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 テレビ、ビデオ、CD・テープレコーダー、パソコン、プリンター、コピー機 日本語専門の教室に加え、日本語講師室あり					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現地教師5名:25歳~35歳、女性のみ。 中~中上級。年長教師は「キルギス日本語教師会」会長も務める。国際交流基金の教師研修参加経験あり。		5) 業務使用言語 ● ロシア語 () ○ ()		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)	
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由					
	・学歴 大卒		性別理由:			
	・経歴 実務経験		学歴理由: 大学勤務に必須			
	・日本語教授法の知識		経験理由: 赴任後即指導を開始するために必要 理由: 現地教師養成のためにも必要 理由:			
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					×	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概地 況域	気候(内陸性気候) 気温(-10~40℃位)		電気(☑安定 □不安定 □なし)			
	電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし)		水道(☑安定 □不安定 □なし)			



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 7 日

調査者名: 間澤 友紀子

要請番号(JL 006 - 10- B - 05)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
インドネ シア	職種 理数科教師 (コード 6901)	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education			2	23 / 2	
指導科目(英)	3	23 / 3				

プログラム番号・名 0060000000062 プロジェクト名
その他

1) 受入省庁名(日本語) 国民教育省
(受入機関名)(英語) Ministry of National Education

2) 配属先名 (日本語) イモギリ公立第一中学校
(英語) Imogiri National Junior High School

3) 任地 ジョグジャカルタ
首都(ジャカルタ)から 東 方向 300 Km
主要都市(ジョグジャカルタ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
ジョグジャカルタ特別州バントゥール県に位置する公立中学校である。同校は地域内のモデル校として位置づけられており、同県内の他中学校をリードする役割を果たしている。他校の教員も交え、教員の勉強会などを積極的に開催している。生徒総数648名。職員総数45名。尚、当校は2006年のジャワ地震で校舎が倒壊し、日本政府の緊急無償援助協力で再建された。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
インドネシアの理科教育は、2004年にカリキュラムの改訂により従来の生物、物理に化学を加えた「総合理科」の導入が決定されたが、当校では未だに総合理科の導入は遅れている。現在活動中の初代隊員は、物理と化学を担当し、実験を取り入れた授業計画を策定・実施することにより、生徒たちの興味を引き出し、理解を深めることを目指した活動に取り組んでいる。

2) 期待される具体的業務内容
1. 理科(生物・物理・化学)のいずれか(もしくは複数)を担当する。
2. チームティーチングで授業を担当し、生徒を直接指導するほか、教師陣の教授能力の向上を図る。
3. 地域の教員勉強会への参加。
身近な材料で可能な実験を提案できれば望ましい。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
実験室

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
6名(ほとんどが40代である)

5) 業務使用言語
● インドネシア語
()
○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル:)
 (レベル:)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・教諭免許 中・理	性別理由:
・学歴 大卒	学歴理由:
・経験 実務経験 5年以上	経験理由: 配属先の要望による。
	理由:
	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (●:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(熱帯雨林) 気温(25~30℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 7 日

調査者名: 間澤 友紀子

要請番号(JL 006 - 10 - B - 06)

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インドネ シア	職種 理数科教師 指導科目	○新規	●2年	1	23 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)	●交替	○1年	2	23 / 2
		3代目	○ヶ月	3	23 / 3

年 月 から

プログラム番号・名 0060000000062

プロジェクト名

その他

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国民教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of National Education
	2) 配属先名 (日本語) マラン公立第二中学校 (英語) Malang National Junior High School
	3) 任地 マラン 首都(ジャカルタ)から 東 方向 400 Km 主要都市(マラン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 地方都市マランに位置する公立中学校である。生徒総数1113名。職員総数78名。 経済的に恵まれない子供たちのために、教育の場も提供しており、現在、約350名在籍している。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 インドネシアの理科教育は、2004年にカリキュラムの改訂により従来の生物、物理に化学を加えた「総合理科」の導入が決定されたが、同校では未だに総合理科の導入は遅れている。現在活動中の隊員は、物理と生物の指導をしながら、遅れている化学の導入を試みている。実験を取り入れた授業計画を策定・実施することにより、生徒たちの興味を引き出し、理解を深めることを目指した活動に取り組んでいる。

2) 期待される具体的業務内容
 1. 理科(生物・物理・化学)のいずれか(もしくは複数)を担当する。
 2. チームティーチングで授業を担当し、生徒を直接指導するほか、教師陣の教授能力の向上を図る。
 3. 地域の教員勉強会への参加。
 身近な材料で可能な実験を提案できれば望ましい。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 実験室

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 8名(30代~50代である)	5) 業務使用言語 ● インドネシア語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
--	--	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由
・教諭免許 中・理 性別 男性 性別理由: 配属先の要望による
・学歴 大卒 学歴理由:
・経験 実務経験 5年以上 経験理由: 配属先の要望による
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(熱帯雨林) 気温(25~30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 2 月 9 日

調査者名: 池上 実

要請番号(JL 006 - 10- B - 15)

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
インドネ シア	職種 理数科教師 指導科目	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	23 / 2	
				3	23 / 3	

プログラム番号・名 東部インドネシア開発支援(南スラウェシ州地域開発) プロジェクト名

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国民教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of National Education
	2) 配属先名 (日本語) バジェン第1中学校 (英語) Bajeng Secondary School 1
	3) 任地 南スラウェシ州ゴワ県 首都(ジャカルタ)から 東 方向 1300 Km 主要都市(マカッサル市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) バジェン第1中学校:生徒数723人(男子319人、女子404人)、教員数51人(物理3人、生物3人) (巡回校/①パラガ第1中学校:生徒数1209人(男子537人、女子636人)、教員数68人(物理6人、生物9人)

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ゴワ県では2004年より新カリキュラムが導入された。しかし総合理科(生物・物理・化学)については、化学専門の教員配 備はできておらず、生物もしくは物理の教員が各教科書の中の化学のチャプターを教えている。新カリキュラムの導入に際 しては、州・中央レベルで教授法や評価法に関する研修が実施されたが、地方の多くの教員は限られた研修しか受けてお らず、化学を教えることに対する知識や技術の不足を感じている。このため、チームティーチングを通じ、同僚教師を支援で きる協力隊員の派遣が要請された。		
	2) 期待される具体的業務内容 バジェン第1中学校をベースに以下のような活動を行うことが期待されている。 ①カリキュラム2004に対応した理科/化学実験・教授法の指導。高価な機材や機器ではなく、身近な資機材を利用してでき る実験法を示すことで生徒の理科に対する興味を深める。 ②学校内や地域の教科研究会(MGMP)の活性化に向けた活動 ③教員と協力しながら新カリキュラムに対応した教材開発を行う。 また、必要に応じて巡回校であるパラガ第1中学校に対し、理科実験などの実施支援を行う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 顕微鏡、ピーカー、フラスコ、ビュレット、スポイト等、理科実験に必要な機材		

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 教員の化学における知識は乏しいが、各校ともに校長は熱意を 持って学校運営に取り組んでおり、教員もJOCVの持つ技術や 指導法を学ぶ意欲は持っている。	5) 業務使用言語 <input checked="" type="radio"/> インドネシア語 () <input type="radio"/> ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル:) <input type="checkbox"/> (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	学歴理由:		
経験理由:			
理由:			
理由:			

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 車輛 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯雨林) 気温(30℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	--

平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22年 7月 6日

調査者名:小杉 尚子

要請番号(JL 021 - 10- B- 01)

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
カンボジア	職種 理数科教師	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1	23 / 1	年 月 から
	指導科目			2	23 / 2	
	職種(英) Science & Mathematics Education			3	23 / 3	
ア	指導科目(英)					

プログラム番号・名 0210000000011 プロジェクト名
理数科教育改善プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育青年スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Youth and Sport
	2) 配属先名 (日本語) ポーサット小学校教員養成校 (英語) Provincial Teacher Training Center, Pursat
	3) 任地 ポーサット 首都(ブンペン)から 北西 方向 200 Km 主要都市(ブンペン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 中学または高校卒業後に入学する2年制の小学校教員養成校で、修了生はポーサット州の小学校教員となる。校内には、付属小学校を併設している。教職員数28名。現在1年生60名(3クラス)、2年生90名(4クラス)がクメール語、数学、理科、社会、英語、心理学、体育などを学んでいる。日本のNGOの援助で図書館が建設された。敷地内には学生寮があり、一部の学生はここで共同生活を送りながら学習している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校の理科担当教官はJICAの理科教育改善プロジェクトで実施された研修会に参加しており、授業に実験や実習を取り入れようという意欲や、授業方法の改善に対する前向きな姿勢が見られている。そこで実験・実習指導を取り入れた授業を提案・指導するため、理数科教師隊員が要請された。また同校には現在理科室がないため、理科室の設置や実験器具の整理、自作教材の作成など、理科の学習環境の整備も求められている。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 理科のカリキュラムに沿って実施可能な実験・実習を同僚教官とともに計画し、実施する。 実施に当たってはカリキュラムの中での位置づけや、授業の中での効果的な取り入れ方についても指導する。 企画・立案・実施する。 2. 身の回りのものを活用した実験・実習教材を開発し、同僚教官や学生に提示する。 3. 他の理数科教師隊員とともに理科教育向上に関する研修会を企画し、実施する。 教員養成校の教官だけでなく、付属小学校や近隣小学校の教諭に対する研修会の実施も期待される。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 虫眼鏡、温度計、地球儀など、簡易な理科実験道具	

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教職員28名(うち女性9名) 校長(男性)、教頭(男性) 理科担当3名(全員女性):50歳代1名(教務兼任) 40歳代2名	5) 業務使用言語 <input checked="" type="radio"/> クメール語 () <input type="radio"/> () ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (I・N:) <input type="checkbox"/> (I・N:)
--	--	---

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・教諭免許 中・理	学歴理由: 教科に対する専門的な知識が必要
	・学歴 大卒 理系	経験理由:
	・経験 実務経験 2年以上	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 車輦 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(熱帯モンスーン) 気温(25~40℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
------	--



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 6 日

要請番号(JL 021 - 10- B - 02)

調査者名: 小杉 尚子

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
カンボジア	職種 理数科教師	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目 理数科教師			2	23 / 2
	職種(英) Science & Mathematics Education			3	23 / 3
	指導科目(英) Science Education				年 月 日 から

プログラム番号・名 0210000000011 プロジェクト名
理数科教育改善プログラム

配属先概要	1)受入省庁名(日本語) 教育青年スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Youth and Sport
	2)配属先名 (日本語) カンダール小学校教員養成校 (英語) Provincial Teacher Training Center, Kandal
	3)任地 カンダール州タクマウ 首都(プノンペン)から 南西 方向 10 Km 主要都市(プノンペン)までの交通手段及び所要時間(バイク で約 0.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 中学または高校卒業後に入学する2年制の小学校教員養成校で、修了生はカンダール州の小学校教員となる。校内には付属小学校を併設している。教職員数45名。現在1年生120名、2年生118名(各5クラス)が、クメール語、数学、理科、社会、英語、心理学、体育などを学んでいる。2001年まで家政隊員が3代派遣されていた。

要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校の理科担当教官はJICAの理科教育改善プロジェクトで実施された研修会に参加しており、授業に実験や実習を取り入れようという意欲や、授業方法の改善に対する前向きな姿勢が見られている。そこで実験・実習指導を取り入れた授業を提案・指導するため、理数科教師隊員が要請された。また同校には現在理科室がないため、理科室の設置や実験器具の整理、自作教材の作成など、理科の学習環境の整備も求められている。		
	2)期待される具体的業務内容 1.理科のカリキュラムに沿って実施可能な実験・実習を同僚教官とともに計画し、実施する。 実施に当たってはカリキュラムの中での位置づけや、授業の中での効果的な取り入れ方についても指導する。 企画・立案・実施する。 2.身の回りのものを活用した実験・実習教材を開発し、同僚教官や学生に提示する。 3.他の理数科教師隊員とともに理科教育向上に関する研修会を企画し、実施する。 教員養成校の教官だけでなく、付属小学校や近隣小学校の教諭に対する研修会の実施も期待される。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 虫眼鏡、温度計、地球儀など、簡易な理科実験道具		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教職員45名(うち女性22名) 校長(女性) 理科担当2名:40歳代男女(実務経験約10年)	5)業務使用言語 ◎ クメール語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) ☐ (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・教諭免許 中・理	学歴理由: 教科の専門知識が必要
	・学歴 大卒 理系	経験理由:
	・経験 実務経験 2年以上	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況域 気候(熱帯モンスーン) 気温(25~40℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 8 月 16 日

要請番号(JL 021 - 10 - B - 10)		調査者名: 小杉 尚子			
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
カンボジア	職種 理数科教師 (コード 6901) 指導科目	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			1 23 / 1	年 月 から
プログラム番号・名 0210000000011		プロジェクト名			
理数科教育改善プログラム					
配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育青年スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Youth and Sport				
	2) 配属先名 (日本語) バッタバン小学校教員養成校 (英語) Provincial Teacher Training College, Battam Bang				
	3) 任地 バッタバン 首都(プノンペン)から 北西 方向 260 Km 主要都市(プノンペン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 5 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1988年創立。中学または高校卒業後に入学する2年制の小学校教員養成校で、修了生はバッタンバン州の小学校教員となる。校内には付属の小学校を併設している。教職員数45名。現在1年生230名、2年生226名が、クメール語、算数、理科、社会、英語、心理学、体育、音楽などを学んでいる。EUや日本のNGOの援助で校舎を建設。VSO(イギリス)が、主として英語教育の支援を行っている。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在小学校教諭隊員が理数科分野で派遣されているので、理数科教師としては初代だが、実質的には2代目となる。現在派遣中の隊員によって理科室が設置され、最低限必要な実験器具が揃いつつある。同校の理科担当教官はJICAの理科教育改善プロジェクトで実施された研修会にも参加しており、授業に実験を取り入れようという意欲も見られ始めている。このように変わり始めた教官の意識が継続され、さらなる授業内容の向上を目指して継続的な支援を行うべく、理数科教師隊員が要請された。				
	2) 期待される具体的業務内容 1. 理科のカリキュラムに沿って実施可能な実習・実験を計画する 2. 身の回りのものを活用した実験教材を開発する 3. 同僚教官とともに実験・実習授業を実施、あるいは同僚教官が授業を実施する際にその補佐を行う 4. 実験・実習を効果的に取り入れた授業の進め方を同僚教官に紹介し、指導する 5. 他の教員養成校に派遣されている理数科教師隊員やJICA専門家とともに理科教育向上に関するワークショップ等を計画立案し、実施する				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 基礎的な理科実験器具				
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理科担当2名 20代男性(実務経験3年) 30代女性(生物専攻、実務経験11年)		5) 業務使用言語 ● クメール語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (I・M:) □ (I・M:)	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・教諭免許 中・理 性別理由: ・学歴 大卒 理系 学歴理由: 教科の専門知識が必要 ・経験 実務経験 2年以上 経験理由: 主として教官に対する指導となるため 理由: 理由:				
活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車				x	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地況域	気候(熱帯モンスーン) 気温(25~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)				



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 7 日

調査者名: 山根 幸子

要請番号(JL 024 - 10- B - 16)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ラオス	職種 理数科教師 (コード 6901)	○新規 ●交替 2代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education			2	23 / 2	
指導科目(英)	3	23 / 3				

プログラム番号・名 0240000000004 プロジェクト名 基礎教育改善

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) トゥラコム郡教育局(活動先はバンケン中高一貫校) (英語) Turakom District Education Bureau(Ban Keun Secondary School)
	3) 任地 ビエンチャン県トゥラコム郡バンケン 首都(ビエンチャン)から 北 方向 68 Km 主要都市(ビエンチャン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) トゥラコム郡教育局は、郡内の小・中・高等学校の管理、教師の評価、試験問題の作成、地域PTAとの協議を行っている。活動先のバンケン中高一貫校は全校生徒約1350人、1～7学年までである完全校である。数学の授業は各学年週6時間行われている。同校は、近隣にある教員養成短大学の教育実習先でもあり、将来的に同地域のモデル校となるよう期待されている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 2008年まで教員養成校を対象に実施されていたJICA理数科教員養成プロジェクト(SMATT)により、養成校教員の知識は向上した。しかし、現役中高一貫校教員の指導力や指導に必要な知識は、依然十分ではなく、長期的な協力が必要とされており、引き続き隊員の要請となった。前任者は、カウンターパートとのチームティーチングを中心に、教員の数学指導方法の提案を行ってきた。また、生徒の学習姿勢の改善や学校の環境整備にも努めてきた。		
	2) 期待される具体的業務内容 1 数学の指導における教員の指導力向上に努める。 2 身近なものを利用した教具、補助教材の作成と紹介を行い、指導法の改善・生徒の理解力の向上を図る。 3 教員養成短大から来る教育実習生への指導や助言を行う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ホワイトボード、ボードマーカー、文房具		
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル バンケン中高一貫校 教員数:57名 数学教師:11名 教員の年齢:23～58歳	5) 業務使用言語 ● ラオス語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: 学歴理由: ・経験 指導経験 2年以上 (塾講師経験も含む) 経験理由: 教師へ指導方法の助言も行なうため。 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ○単車 ●自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況域 気候(亜熱帯) 気温(15-40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 7月 7日

要請番号(JL 024 - 10- B- 17)		調査者名: 山根 幸子				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ラオス	職種 理数科教師 (コード 6901)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education			2	23 / 2	
指導科目(英)	3	23 / 3				
プログラム番号・名 0240000000004		プロジェクト名				
基礎教育改善						
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education					
	2) 配属先名 (日本語) バンケン教員養成短期大学自然科学コース (英語) Ban Keun Teacher Training College (Natural Science Course)					
	3) 任地 ビエンチャン県トゥラコム郡バンケン 首都(ビエンチャン)から 北 方向 68 Km 主要都市(ビエンチャン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 幼稚園、小・中学校教員の養成を行っている同校は、後期中等教育(高校レベル)修了者を受け入れ、1~3年間のコースが設けられている。中学校教員養成のための自然科学コース(生物・科学・物理・数学)は3年間のコースのみがあり、約500名の学生が在籍している。同校は、過去にSIDA(スウェーデン)からの資金援助やオーストラリア人ボランティア、JICAによる技術プロジェクトを受けてきている。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 2008年まで全国の教員養成校を対象に実施されていたJICA理数科教員養成プロジェクトにより養成校教員の知識は向上したが、実験・実践に配慮した指導法や知識習得のためには依然協力が必要である。また、ラオスにおける理数科の学習レベル向上は急務事項であり、ラオス政府は教員教育・育成にかかる2015年までの政策・戦略の焦点として、教員養成校の役割強化をあげている。このような背景から、同コースの教員の指導法改善や学生の学力向上のために、引き続き隊員の派遣が求められている。前任者は物理を中心に、身近に集められる用具を用いて、実験や実験装置の紹介を教員、学生双方に行ってきた。					
	2) 期待される具体的業務内容 1. 積極的に実験を取り入れた授業を紹介し、教員及び学生の指導力向上を図る。 2. 授業研究会等の機会を設けて、授業計画をはじめ指導法の改善に努める。 3. 薬品や器具等の整理・整頓に努め、それらの管理の仕方について指導する。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 試験管、ピーカー、磁石等簡単な実験器具、薬品、顕微鏡、オシロスコープ					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 自然科学コース 教員数:13名(物理3名、化学1名、生物3名、数学6名) 兼任している教員もいる(女性8名) 教員年齢:20~50歳代(物理・生物教員は若い)		5) 業務使用言語 ● ラオス語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (I/A/N:) □ (I/A/N:)		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・教諭免許 中・理 性別理由: 学歴理由: ・経験 実務経験 2年以上 経験理由: 教員へ助言・指導が求められているため 理由: 理由:					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
●有 ○無 ○車輦 ○単車 ●自転車					x	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概地 況域	気候(亜熱帯) 気温(15-40℃位)		電気(☑安定 □不安定 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)		
	電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)					



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 2 月 12 日

要請番号(JL 024 - 10- B - 35)

調査者名: 小熊 誠

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ラオス	職種 理数科教師	○新規	●2年	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Science & Mathematics Education			3	23 / 3
	指導科目(英)	3 代目	○ ヶ月		年 月 から

プログラム番号・名 0240000000004 プロジェクト名
基礎教育改善

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) サバナケット教員養成短期大学 (英語) Savannakhet Teacher Training College
	3) 任地 サバナケット県カインソン市 首都(ビエンチャン)から 南東 方向 440 Km 主要都市(カインソン市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は小中学校教員養成を目的として、高等学校卒業者(11年修了者)を対象とする1年間の幼稚園教諭・小学校教員養成課程と、理数科、社会、英語コースを持つ3年間の中学校教員養成課程がある。2003年から2代の理数科教師の協力隊員が派遣され、JICAの「理数科教員養成プロジェクト」が2008年6月まで実施されてきたが、学生総数3900名(自然科学科は590名)、教員総数140名(自然科学科は38名)

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同配属先には、これまで2名の隊員が活動し、物理や化学を教えてきたが、未だに隊員の評価は高い。また、JICAの「理数科教員養成プロジェクト」等の研修を通し、JICAとも連携してきたが、教育省から算数、数学教育のモデル校に指定されており、よりレベルアップした教育方法が期待されていることから、引き続き、協力隊員の要請がなされている。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 実際の授業をモニタリング、評価し、教員へ指導方法等の改善点をフィードバックする。 2. カウンターパートと協力し、授業で使用する教材を作成する。 3. 授業の中で取り入れている算数ゲーム等の改善を指導する。 4. 数学教員の数学に関する知識の向上を支援する。 5. 数学教員を対象とした指導方法、教材作成、算数ゲームに関するワークショップ開催を支援する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コピー機、コンピューター、黒板、図書館に英語版教科書あり		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 男性 40代、修士、数学専攻、他、教員17名	5) 業務使用言語 ● ラオス語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	・学歴 短大卒	学歴理由:
	・経験 実務経験 2年以上	経験理由: 短期大学の現職教員を指導するため
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ○単車 ●自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯) 気温(20~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
地域	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 7月 2日

調査者名: 藤田晃典

要請番号(JL 045 - 10 - B - 10)		調査者名: 藤田晃典				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
モンゴル	職種 理数科教師 (コード 6901)	○新規 ◎交替 3 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目			1	23 / 1	日系/短期等 年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education			2	23 / 2	
指導科目(英)	3	23 / 3				

プログラム番号・名 0450000000003 プロジェクト名
 基礎教育・高等教育及び職業訓練等の充実を通じた人材育成支援プログラム

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育文化科学省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Culture and Science
	2) 配属先名 (日本語) スフバートル第4学校 (英語) Sukhbaatar school No.4
	3) 任地 セレンゲ県スフバートル 首都(ウランバートル)から 北 方向 320 Km 主要都市(ウランバートル)までの交通手段及び所要時間(車 で約 5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ロシアとの国境近くの町の11年制学校。中等部は1部制であり午前は通常授業、午後は自由参加型の授業が行われている。中等部の職員数は39名うち数学担当教員は4名、全体の生徒総数は約750名。現在、11年制から12年制へ移行中。JICAの実施した「子どもの発達を支援する指導法改善プロジェクト(2009年7月終了)」の対象校であり、理数科教師、体育、小学校教諭のJOCVが活動中。年間予算は約1900万円。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国では、これまで就学前教育の段階から実施されてきた記憶中心の教育が見直され、考える力を伸ばす授業の改善が図られており、配属先は11年制から12年制への移行中である。配属先でも、新教育スタンダードが導入されており、現場のニーズを取り入れた教育の改善を図っていくために現在JOCVを派遣中である。今後も引き続き協力が求められており今回の要請に至った。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 同僚教師とともに中等部の生徒に対し数学の授業を行う。 2. 同僚教師とともに指導方法の改善に努める。 3. 部活動の指導も行う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし		
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 生徒7-11年生(12-17歳程度) 同僚教員20-50代	5) 業務使用言語 ◎ モンゴル語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・教諭免許 中・数 性別理由: 学歴理由: ・経験 指導経験 3年以上 経験理由: 活動上必要 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(大陸性気候) 気温(-30~30℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 6 月 11 日

要請番号(JL 066 - 10- B - 01)

調査者名: 中川 朋子

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
スリラン カ	職種 理数科教師 指導科目	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	23 / 2
	3			23 / 3	

プログラム番号・名 0660000000006 プロジェクト名
 基礎教育プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 南部州教育省 (受入機関名)(英語) Provincial Ministry of Education, Southern Province
	2) 配属先名 (日本語) アクレッサ教育事務所 (英語) Zonal Education Office Akkuressa
	3) 任地 アクレッサ 首都(スリ・ジャワルダ・ナプラコッテ)から 南東 方向 150 Km 主要都市(ゴール)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 各州政府には州政府教育省がある。州内はいくつかのゾーンに分けられ、ゾーン教育事務所が設置されている。同事務所は管轄する公立小・中・高等学校(合計82校)の人事や予算、教育方針に関する管理、指導や教員のトレーニングを行っている。国連機関やドイツの資金援助を受けて数学強化プログラムを平日の課外時間や週末に実施している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同地域では高校入試における数学試験合格率が全国平均より低く、数学強化プログラムが上述の通り実施されている。また、JICA技術協力プロジェクト「学校運営改善プロジェクト」(2008年に終了)の実施するセミナーに参加した経験を持つ教育事務所スタッフが、同プロジェクトの紹介した100ます計算等を同地域で実施している。こうした状況下、JICAプロジェクトのリソースを生かし数学強化プログラムを支援可能なJICAボランティアの要請が上がった。なお同地域所在のニルワラ教員養成大学では、物理を担当する理数科教師隊員が派遣中である。		
	2) 期待される具体的業務内容 現在同地で実施されている数学強化プログラムやJICA技術協力プロジェクト「学校運営改善プロジェクト」のリソースを活かし、職場のニーズに柔軟に対応し、以下を中心に活動を行う。 1. 赴任当初は、配属先関係者と学校巡回を行いながら、任国の教育制度や現在実施中の数学強化プログラムの状況把握に努める。 2. 巡回指導校にて現地人教師と協力し小・中学生を対象に数学の補習授業、100ます計算、教材作成等を行う。 3. 教師陣に演習方法や教材作成等の指導を行う。 4. 教育事務所での定期的ミーティングや学校での教師会、父母会、セミナーへ出席し情報共有、助言を行う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教育事務所執務スペース、巡回指導先学校(黒板、チョーク、机、いす)		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教育事務所所員、指導主事等 数学担当教師(同事務所管轄地域の学校82校に225名)	5) 業務使用言語 ◎ シンハラ語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	・教諭免許 中・数	性別理由:	
	・学歴 大卒	学歴理由: 対象者が教員のため	
	・経験 実務経験 2年以上	経験理由: 応用的指導力が必要なため	
	理由:		
	理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輜 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況域 気候(熱帯モンスーン) 気温(28℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 1月 8日

要請番号(JL 106 - 10- B- 14)

調査者名: 太田 貴子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
フィジー	職種 理数科教師 (コード 6901)	○新規 ●交替 2代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1	年 月 から
	指導科目			2	23 / 2	
	職種(英) Science & Mathematics Education			3	23 / 3	
	指導科目(英)					

プログラム番号・名 1060000000005 プロジェクト名
 基礎・情操教育改善

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育・国家遺産・文化・芸術・青年・スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, National Heritage, Culture and Arts
	2) 配属先名 (日本語) ディーイーヴィー女子中等学校 (英語) DAV Girls College
	3) 任地 スバ 首都(スバ)から 北 方向 0 Km 主要都市(スバ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) インド系団体運営の女子中等学校で、中学3年生から高校4年生(Form3~Form7)までの1学年約120名の中規模校である。生徒は、フィジー系、インド系が半々である。政府からの学校運営資金の他、生徒からの授業料収入がある。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 中等学校における生徒の数学能力向上を目指して、JICA帰国研修員2名とスバ、ナウソリ地区6校のパイロット校数学 教員による「数学教育向上プロジェクト」(2008.5~2013.12)が教育省により開始された。JICAは、教育省カリキュラム局とパ イロット校に数学教師ボランティアを派遣することでプロジェクトに協力を行なっている。引き続き協力隊員を派遣すること により、配属先の生徒の数学能力向上及び同僚教員の指導力向上への支援が期待されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・配属先の学校で、数学科の教員として授業を担当する。主な指導対象は、プロジェクトの対象であるForm3(中学3年)と Form4(高校1年)のクラスとなる。 ・同僚教師たちとのチーム・ティーチングや研究授業を通して効果的な授業方法を工夫・助言する。 ・数学教育向上プロジェクトの他パイロット校と連携して、授業研究を行なう。 ・JICAボランティア数学分科会や数学教育向上プロジェクトの関係者を通じて数学能力向上のための、情報交換、ワーク ショップを企画する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 教員数約34名 内数学科教員5名(20-40歳代) 生徒 約500名	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル:) <input type="checkbox"/> (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴理由: 中学・高校の数学を指導するため	
	経験理由: 現職教員への助言も求められるため	
	理由:	
	理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(熱帯海洋性) 気温(16-35℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 9 日

要請番号(JL 124 - 10 - B - 08)

調査者名: 白築 健

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パプア ニューギ ニア	職種 理数科教師 指導科目	○新規 ●交替 5 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	23 / 2
				3	23 / 3

プログラム番号・名 1240000000002 プロジェクト名
 初等・中等教育改善プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) マヌス州政府 (受入機関名)(英語) Manus Provincial Administration
	2) 配属先名 (日本語) マヌス高校 (英語) Manus Secondary School
	3) 任地 マヌス州ロレンガウ 首都(ポートモレスビー)から 北 方向 820 Km 主要都市(ロレンガウ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.4 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1963年に設立された男女共学普通科高校。日本の中学3年から高校3年に相当する9学年から12学年の生徒を対象に中等教育を行っている。教員数30人、生徒数約600人。年間予算は、約50万キナ(約1750万円)。2000年からJOCV(理数科教師)が活動している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国教育省では、国の発展の基礎となる理数科教育の質の向上を目指しているが、一般的に理数科教師が不足し、その教科知識や指導法にも課題が多い。そうした中、マヌス高校では、理科や数学の授業を受け持つと同時に、同僚教師への教科内容の指導、教授法の紹介・普及も期待し、JOCVの派遣の継続要請がなされた。ボランティアには、従来からの板書・暗記中心の授業に対し、計算力、思考、実験・観察を重視した指導法の実践が求められている。		
	2) 期待される具体的業務内容 校長や同僚教師の要望を聞きながら、次のような業務を進める。 1. 9学年から12学年を対象に、理科や数学、コンピューターなどの授業を担当する。 2. 同僚教師を対象として、教科内容、教授法、コンピューターの使用法などを指導する。 3. 身近な素材を使った理科実験の紹介・普及を行う。 4. 同任地や他任地の理数科教師JOCVやSVと連携し、授業研究会や実験紹介などを企画する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科実験室、実験器具・薬品など。予算上の制約から十分な設備・備品は望めず、自然にある物、身近にある廃材などを有効活用した理科実験の工夫・紹介が求められる。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長、教頭、教員 30人 うち理科教員 4人 数学教員 4人	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (ビジン語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・性別 男性	性別理由: 安全対策上
	・学歴 大卒 理系	学歴理由: 日本の中高レベルの理数科を指導するため
	・中高・理または教の教諭免許	理由: 教員への指導も求められているため

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(熱帯雨林) 気温(25-35℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 8 月 5 日

要請番号(JL 139 - 10 - B - 09)

調査者名: 川畑 康代

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
サモア	職種 理数科教師 (コード 6901)	○新規 ●交替 6 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Science & Mathematics Education			3	23 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 1390000000003 プロジェクト名 基礎教育改善

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 財務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Finance
	2) 配属先名 (日本語) ポールVIカレッジ (英語) Paul VI College
	3) 任地 レウルモエガ 首都(アピア)から 西 方向 30 Km 主要都市(アピア)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) カトリック大司教教育システムに属するカレッジの一角で、生徒数約200名、年間予算約2,700万円。現在、7~12年生(10~18歳)までが通学し、英語、数学、地理、農業、家政、木工、国語、理科、社会、宗教、体育、会計学、音楽、コンピュータを学んでいる。また同校は来年度から新たに13年生のクラスを開講予定である。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) サモアの初中等教育は1~8年生(5~13歳)の義務教育、及び9~13年生(14~19歳)の中等教育に分かれている。中等教育に進学する生徒の大多数は12年生で学業を終えるが、成績優秀者は13年生の教育を許可された学校に進むことができる。これまで同校では12年生までを受入れ、卒業生は近隣の私立学校で13学年を修了していた。しかし、当該私立学校が13学年クラスを閉鎖することになった。卒業生の学業継続の道が絶たれる恐れがでてきたため、配属先では、新たに本校で13学年を開講することを決定した。新学年開設にあたり能力ある教師の確保を進めているが、人材不足は否めず隊員の要請に至った。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・配属先で11年生~13年生までの数学を担当し、英語で授業を行う。 ・教育省が行っている基礎教育理数科改善プロジェクトと連携し、特に数学における他の学校への巡回指導や現職教員研修での模擬授業を行う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ・教材作成用のPC、プリンター、コピー機(すべて共有) ・職員室内の共有機		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教員数15名 同僚数学教師:女性、40代前半	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・教諭免許 中高・数	性別理由:
	・学歴 大卒 理系	学歴理由: 配属先が提示する条件
	・経験 実務経験 2年以上	経験理由: 配属先が提示する条件
	・(塾講師経験を含む)	理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		N	×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(熱帯海洋性) 気温(25-32℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
地域	電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 7 月 9 日

要請番号(JL 212 - 10- B - 01)

調査者名: 瀧下良信

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ペリース	職種 理数科教師	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Science & Mathematics Education			3	23 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 プロジェクト名

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Youth and Sport
	2) 配属先名 (日本語) サルタネハ コーナーストーン クリスチャン アカデミー (英語) Sarteneja Cornerstone Christian Academy
	3) 任地 コロザル郡サルタネハ村 首都(ベルモパン)から 北東 方向 120 Km 主要都市(オレンジウオーク)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ペリース北部のサルタネハ村にある当中高校は、生徒数85名(Form1~4までの4学年4クラス、来年は100名に増える予定)、教師数7名の小規模な学校である。理数科、ビジネスの2つの専門コースがある。学校は米国のバプテスト教会の支援により運営されており、教会を通じて米国のボランティア教師が度々訪れている(現在美術教師1名が滞在中)。年間予算は約760万円。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先は2002年に設立された新しい学校で、生活に不便な僻地部にあることから教師の確保が難しい状況にある。来年以降生徒数を増やす計画であるため、理数科教育における教師不足が見込まれる。現在理科教師1名、数学教師1名がいるが、二人とも若く経験が少ないため、ペリース人教師に対する授業方法の指導も必要である。		
	2) 期待される具体的業務内容 理数科教師として、以下の業務が期待されている。 ①Form1、2(中学校1、2年生レベル)に対する週12時限(6時限×2クラス、1時限は40分)の数学指導 ②Form1、2(中学校1、2年生レベル)に対する週12時限(6時限×2クラス、1時限は40分)の理科指導 ③ペリース人教師に対する授業方法の指導		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科実験室、顕微鏡3台、プロジェクター、コンピューター、プリンター(コピー機能付)		
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長 男性 20歳代 同僚講師 男性3名、女性3名 20歳代	5) 業務使用言語 ◎ 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由		

資 格 条 件	性別理由:	
	学歴 大卒	学歴理由: 同僚教師に対する指導が含まれるため
		経験理由:
		理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況域 気候(熱帯雨林) 気温(20~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 6 月 28 日

要請番号(JL 227 - 10 - B - 06)

調査者名: 皆川 順子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エルサル バドル	職種 理数科教師 (コード 6901) 指導科目	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	23 / 2
				3	23 / 3

プログラム番号・名 2270000000012 プロジェクト名
基礎教育を中心とした教育の強化と質の向上

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) レプブリカ・デ・アルヘンティーナ学校 (英語) Republica de Argentina School
	3) 任地 ラウニオン県サンアレホ市 首都(サンサルバドル市)から 東 方向 150 Km 主要都市(サンサルバドル市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3.0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 教育省は、2001年に中部、西部、東部の3箇所に教員研修センターを開設し、教員研修を実施している。また、教育政策である「社会教育計画2009-2014」では、教員の指導力向上のための9つの教員研修プログラムを実施している。配属先学校は、生徒数726名(幼児教育第1学年~9学年)、教員数18名。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 教育省は、教育政策として「社会教育計画2009-2014」を掲げており、生徒の就学内容を拡充させるプログラムがある。これは、主要5科目の他、情操教育、職業訓練などを教育課程として新たに組み込み、指導するものとして、全国に18校のプログラムサイトを立ち上げた。また、教員の指導法の改善を図ることで、生徒の学習効果を高め、学校教育全体の質の向上に取り組む。理科教育課分野では、専門分野である実験の技能や指導力が不十分であることから、理論を教科書で確認するだけの授業に終始する教員が散見される。理科専科教員の指導技術の強化は必須であるため、隊員の要請に至った。		
	2) 期待される具体的業務内容 1 配属先における活動 (1)理科教材や理科器具を使用した実験授業推進のための助言・指導活動 (3)公開授業の計画・立案及び実施に係る校内教員研修支援 2 東部理科教育指導力強化サイトにおける活動 (1)教育省理科技官及び東部配属の理科支援隊員(ラウニオン市、サンミゲル市)と連携し、教員の理科指力導向上を目的としたイベントを企画・実施		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 事務用品等		

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 学校:校長(女性・50代) 教員研修センター:理科技官(男性・40代) ・技官は大学卒、教員免許を所有しており、教員として5年以上の経験がある	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	・教諭免許 中・理 性別理由:		
	・学歴 大卒 学歴理由:		
・経験 実務経験 5年以上 経験理由:活動に教員指導が含まれるため			
理由:			
理由:			

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(熱帯気候) 気温(20-40℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 6 月 28 日

要請番号(JL 227-10-B-07)

調査者名: 皆川 順子

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エルサルバドル	職種 理数科教師 指導科目 理科教育	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	2			23 / 2	
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英) Science & Mathematics Education			3	23 / 3

プログラム番号・名 227000000012 プロジェクト名
 基礎教育を中心とした教育の強化と質の向上

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) 東部教員研修センター (英語) Development Educational Center in San Miguel
	3) 任地 サンミゲル県サンミゲル市 首都(サンサルバドル市)から 東 方向 120 Km 主要都市(サンサルバドル市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 教育省は、2001年に中部、西部、東部の3箇所に教員研修センターを開設し、教員研修を実施している。また、教育政策である「社会教育計画2009-2014」では、教員の指導力向上のための9つの教員研修プログラムを実施している。配属先は、東部4県を管轄、2010年度教育省予算は約6億\$。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 教育省は、教育政策として「社会教育計画2009-2014」を掲げており、生徒の就学内容を拡充させるプログラムがある。これは、主要5科目の他、情操教育、職業訓練などを教育課程として新たに組み込み、指導するものとして、全国に18校のプログラムサイトを立ち上げた。また、生徒の学習効果を高めるべく、教員の指導法の改善を図り、学校教育全体の質の向上に取り組む。理科教育課分野においても、専門分野での実験の技能や指導力不足が散見するため、理科専科としての資質向上は必須である。また、東部地域に配属している理科支援隊員と連携し、校内教員研修支援を実施することが期待されている。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 配属先における活動 (1) 理科教材や理科器具を使用した実験授業推進のための助言・指導活動 (2) 教育省理科技官及び東部地域配属の理科支援隊員(ラウニオン市、サンアレホ市)と連携し、教員の理科指導向上を目的としたイベントを企画・実施 2. 東部理科教育指導力強化サイトにおける活動 (1) 公開授業の計画・立案及び実施に係る校内教員研修支援	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 事務用品等	

資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教員研修センター: 所長(男性・40代) 理科技官(男性・40代) ・技官は大学卒、教員免許を所有しており、教員として5年以上の経験がある	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
------	---	---	--

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	・教諭免許 中・理	・性別 男性	性別理由:
	・学歴 大卒		学歴理由:
	・経験 実務経験 5年以上		経験理由: 活動に教員指導が含まれるため
		理由:	
		理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(熱帯気候) 気温(20-40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
------	---

平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 6月 28日

調査者名: 皆川 順子

要請番号(JL 227 - 10 - B - 08)					
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
エルサル バドル	職種 理数科教師 (コード 6901) 指導科目	○新規 ○交替 2 代目	◎ 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			1 23 / 1	年 月 から
プログラム番号・名 2270000000012		プロジェクト名			
基礎教育を中心とした教育の強化と質の向上					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education				
	2) 配属先名 (日本語) ホセ・パントジャハイホ学校 (英語) Jose Pantoja Hijo School				
	3) 任地 ラウニオン県ラウニオン市 首都(サンサルバドル市)から 東 方向 150 Km 主要都市(サンサルバドル市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3.5 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 教育省は、2001年に中部、西部、東部の3箇所に教員研修センターを開設し、教員研修を実施している。また、教育政策である「社会教育計画2009-2014」では、教員の指導力向上のための9つの教員研修プログラムを実施している。配属先学校は、生徒数1,400名(幼児教育、第1学年~9学年、高等学部3年)、教員数43名、2010年度予算は60,000US\$。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 教育省は、教育政策として「社会教育計画2009-2014」を掲げており、生徒の就学内容を拡充させるプログラムがある。これは、主要5科目の他、情操教育、職業訓練などを教育課程として新たに組み込み、指導するものとして、全国に18校のプログラムサイトを立ち上げた。また、教員の指導法の改善を図ることで、生徒の学習効果を高め、学校教育全体の質の向上に取り組む。理科教育課分野では、専門分野である実験の技能や指導力が不十分であることから、理論を教科書で確認するだけの授業に終始する教員が散見される。理科専科教員の指導技術の強化は必須であるため、隊員の要請に至った。				
	2) 期待される具体的業務内容 1.配属先における活動 (1)理科教材や理科器具を使用した実験授業推進のための助言・指導活動 (2)公開授業の計画・立案及び実施に係る校内教員研修支援 2.東部理科教育指導力強化サイトにおける活動 (1)教員研修センターの理科技官及び東部配属の理科支援隊員(サンアレホ市、サンミゲル市)と連携し、教員の理科指導力向上を目的としたイベントを企画・実施				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 事務用品等				
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 学校:校長(男性・50代) 教員研修センター:理科技官(男性・40代) ・技官は大学卒、教員免許を所有しており、教員として5年以上の経験がある		5) 業務使用言語 ◎ スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・教諭免許 中・理 性別理由: ・学歴 大卒 学歴理由: ・経験 実務経験 5年以上 経験理由:活動に教員指導が含まれるため 理由: 理由:				
活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車				×	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(熱帯気候) 気温(20-40℃位)		電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)		
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)				



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 3 日

要請番号(JL 506 - 10- B - 02)

調査者名:長谷 宏司

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エチオピア	職種 理数科教師	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 2
	指導科目			2	23 / 3
	職種(英) Science & Mathematics Education			3	/
指導科目(英)		年 月 から			

プログラム番号・名: 教育行政キャパシティビルディング
 プロジェクト名:

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) アムハラ州政府教育局 (受入機関名)(英語) Amhara Region Education Bureau
	2) 配属先名 (日本語) クルクアルメダ小学校 (英語) Kulkual Meda Primary School
	3) 任地 バハルダール 首都(アジスアベバ)から 北西 方向 600 Km 主要都市(アジスアベバ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 12 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) アムハラ州の州都バハルダール市にある約1500人の生徒が通う小学校(1年生~8年生の8年制)。 図書館・実験室の建設など、外国の援助が断続的にある。 2009年9月からは理数科教師隊員が活動中である。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国の理数科教育は、設備や道具の不足などにより、理論中心の授業が主流で、実験・観察などは重視されていない。 当国連邦教育省は、2006年に30%であった高校の理数科進学率を、2007年には70%、2008年には80%に高めるなど理数科教育を推進する方針をとってきたが、実験を指導できる教員は依然として不足している。物のない状況で、基本的な実験などを通して、理数科本来が持つ、自ら発見したり工夫することの楽しさを育むことへの協力が求められており、後任の要請に至った。前任者は、数学の指導と理科実験の普及に努めている。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 理数科教員として授業を担当する。(具体的な科目は、配属先と相談して決定する) 2. 十分な設備がない中で工夫した授業を示し、生徒の関心を引き出し、同僚教員がそれを実践できるように支援する。 3. 同市教育局、他の理数科隊員と連携し、現地教員を対象とする教員研修に取り組む。 また、廃品などを活用して、授業に必要な補助教材を作成したり、実験室(建設予定)の運営等に関わることも期待されている。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 基本的な実験器具(ピーカー、フラスコなど)		
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長:50歳代(男性) 同僚:物理教師1名、化学教師2名、生物教師2名(高校、短大、大学卒等の20~40代)※教員の異動は多い	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (アムハラ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	・学歴 大卒	性別理由: 学歴理由: 同国の理数科教員は大卒者もいるため	
	・小学校教諭または中・高・理または数	経験理由: 理由: 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		P	×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況域 気候(温帯~高山気候) 気温(15-30度くらい℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 3月 12日

要請番号(JL 506 - 10- B- 17)

調査者名:長谷宏司

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エチオピア	職種 理数科教師 指導科目 理数科	○新規 ●交替 2代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英) Science & Mathematics Education			2	23 / 2
				3	23 / 3

プログラム番号・名 5060000000004 プロジェクト名
 初等教育のアクセスと質の向上

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) アジスアベバ市政府教育局 (受入機関名)(英語) Addis Ababa City Government, Education Bureau
	2) 配属先名 (日本語) テメンジャヤゼ小学校 (英語) Temenjajazhe Primary School
	3) 任地 アジスアベバ 首都(アジスアベバ)から 北西 方向 0 Km 主要都市(アジスアベバ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) アジスアベバ市Kirkosサブシティにある約1400人の生徒が通う小学校(1~8年生:7~14歳)。 外国の直接的な援助は同配属先にはない。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国の理数科教育は、設備や道具の不足などにより理論中心の授業が主流で、実験・観察などは重視されていない。同国教育省は、2006年に30%であった高校の理数科進学率を、2007年には70%、2008年には80%に高めるなど理数科教育を推進する方針をとってきたが、実験を指導できる教員は依然として不足している。そのため、小学校での指導や教員の人材育成を行う協力が要請された。現在、対象となる首都の小学校へ理数科教師を複数派遣し、同職種隊員間の連携・協力による活動を実施している。前任者は数学の授業を担当しながら、他の理数科ボランティアとともに現地教師への理科実験セミナーなどを行っている。	
	2) 期待される具体的業務内容 1.理数科教員として主にGrade7,8(学齢は日本の中学1、2年生に相当)の授業を担当するか、またはラボラトリーテクニシャン(実験プロモーター)として廃材や身近な物で教具を開発し、それらが現地教師達の授業の中で効果的に導入されてゆくように働きかける。 2.十分な設備がない中で工夫した授業を示し、生徒の関心を引き出し、同僚教員がそれを実践できるように支援する。 3.管轄の教育機関や理数科教師ボランティアと連携し、現地教員を対象とする教員研修を持続的に実施する。 また、理科クラブ、環境クラブ、日本語クラブなどの自主課外活動も期待されている。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 基本的な実験器具(ピーカー、フラスコなど)	

資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長:40歳代(女性) 同僚:物理教師2名、化学教師2名、生物教師2名(20~40代) ※教員の異動は多い	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (アムハラ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
------	---	--	--

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	・教諭免許 高・理	性別理由:	
		学歴理由:	
	・経験 指導経験	経験理由:授業や教員研修を実践するため	
	理由:		
	理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車		P	×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(温帯気候) 気温(15-30℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JVA ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 3 月 12 日

要請番号(JL 506 - 10 - B - 18)

調査者名:長谷宏司

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エチオピア	職種 理数科教師	○新規 ◎交替 2 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Science & Mathematics Education			3	23 / 3
	指導科目(英)				年 月 日 から

プログラム番号・名 5060000000004 プロジェクト名
初等教育のアクセスと質の向上

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) アムハラ州政府教育局 (受入機関名)(英語) Amhara Region Education Bureau
	2) 配属先名 (日本語) サルテスディングル小学校 (英語) Sertse Dingle Primary School
	3) 任地 バハルダール 首都(アジニアベバ)から 北西 方向 600 Km 主要都市(アジニアベバ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 12 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) アムハラ州の州都バハルダール市にある約2700人の生徒が通う小学校(1~8年生:7~14歳)。 外国の直接的な援助は同配属先にはない。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 知識偏重教育の中で、理科実験の重要性と面白さを伝えるために歴代の隊員が実験室を整備してきたが、今後はその管理と実験のノウハウを現地人に伝えて残す活動に注力することが期待されている。 同州への理数科教師の複数派遣を実施中。前任者は実験室の整備を進めると共に、理科実験普及者として現地教員への支援を主活動としている。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 理数科教員として主にGrade7-8(学齢は日本の中学1、2年生に相当)の授業を担当するか、ラボラトリーテクニシャン(実験プロモーター)として廃材や身近な物で教具を開発し、それらの教材が現地教師達の授業の中で効果的に導入されてゆくように働きかける。 2. 十分な設備がない中で工夫した授業を示し、生徒の関心を引き出し、同僚教員がそれを実践できるように支援する。 3. 管轄の教育機関や理数科教師ボランティアと連携し、現地教員を対象とする教員研修を持続的に実施する。 また、理科クラブ、環境クラブ、日本語クラブなどの自主課外活動も期待されている。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 基本的な実験器具(ピーカー、フラスコなど)	

要 請 概 要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長:50歳代(男性) 同僚:物理教師1名、化学教師2名、生物教師2名(20~40代) ※教員の異動は多い	5) 業務使用言語 ◎ 英語 () ○ その他 (アムハラ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
------------------	---	--	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・教諭免許 高・理	性別理由:
	・経験 指導経験	学歴理由:
		経験理由: 授業や教員研修を实践するため
	理由:	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車		P	x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況域 気候(温帯気候) 気温(15-30℃位) 電気(☐安定 ☑不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☐安定 ☑不安定 ☐なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 9 月 7 日

調査者名:長谷 宏司

要請番号(JL 506 - 10 - B - 19)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
エチオピア	職種 理数科教師 (コード 6901)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 1	年 月 から
	指導科目			2	23 / 2	
ア	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)	3	23 / 3			

プログラム番号・名 5060000000004 プロジェクト名
 初等教育のアクセスと質の向上

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) オロミア州政府教育局 (受入機関名)(英語) Oromiyaa Education Bureau
	2)配属先名 (日本語) バトゥ・No2 小学校 (英語) Batu No.2 Elementary School
	3)任地 ズウアイ 首都(アジスアベバ)から 南 方向 160 Km 主要都市(ズウアイ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.1 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1994年に設立された地方の比較的大きな湖畔の街にある約1700名の生徒が通う小学校(1~8年生:7~14歳)。現在、理科が専門の教師はいないが、地域のセンター校となっている。外国の直接的な援助は同配属先にはない。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国の理数科教育は、設備や道具の不足などにより理論中心の授業が主流で、実験・観察などは重視されていない。同国教育省は、2006年に30%であった高校の理数科進学率を、2007年には70%、2008年には80%に高めるなど理数科教育を推進する方針をとってきたが、実験を指導できる教員は依然として不足している。そのため、小学校での指導や教員の人材育成を行う協力が要請された。オロミア州内の小学校へ理数科教師を複数派遣し、同職種ボランティアが連携・協力する活動を予定している。また、首都とアムハラ州にも複数のボランティアを派遣中である。	
	2) 期待される具体的業務内容 1.理数科教員として主にGrade7,8(学齢は日本の中学1, 2年生に相当)の授業を担当するか、またはラボラトリー・テクニシャン(実験プロモーター)として廃材や身近な物で教具を開発し、それらが現地教師達の授業の中で効果的に導入されてゆくように働きかける。 2.十分な設備がない中で工夫した授業を行い、生徒の関心を引き出し、同僚教員がそれを実践できるように支援する。 3.管轄の教育機関や理数科教師ボランティアと連携し、現地教員を対象とした教員研修を持続的に実施する。 また、理科クラブ、環境クラブ、日本語クラブなどの自主課外活動も期待されている。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 基本的な実験器具(ピーカー、フラスコなど)	

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長:40歳代(男性) 同僚:20~50代)※教員の異動は多い。	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (アムハラ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (I・M:) □ (I・M:)
---	---	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	・教諭免許 高・理
	性別理由:
	学歴理由:
	経験理由:
理由:	
理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		P	x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(温帯気候) 気温(15-30℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
	電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 9 月 4 日

調査者名:長谷 宏司

要請番号(JL 506 - 10- B- 20)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
エチオピア	職種 理数科教師 (コード 6901)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	23 / 2	
		3	23 / 3			

プログラム番号・名 5060000000004 プロジェクト名
 初等教育のアクセスと質の向上

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) オロミア州政府教育局 (受入機関名)(英語) Oromiyaa Education Bureau
	2)配属先名 (日本語) ハアウサア・マルカスエ・イースト小学校 (英語) Hawes Malkase East Primary School
	3)任地 ナザレット 首都(アジスアベバ)から 南東 方向 100 Km 主要都市(ナザレット)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1970年に設立された地方の比較的大きな街から20Km程離れた約2200名の生徒が通う小学校(1~8年生:7~14歳)。現在、理科室は設置されていないが、地域のセンター校となっている。外国の直接的な援助は同配属先にはない。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国の理数科教育は、設備や道具の不足などにより理論中心の授業が主流で、実験・観察などは重視されていない。同国教育省は、2006年に30%であった高校の理数科進学率を、2007年には70%、2008年には80%に高めるなど理数科教育を推進する方針をとってきたが、実験を指導できる教員は依然として不足している。そのため、小学校での指導や教員の人材育成を行う協力が要請された。オロミア州内の小学校へ理数科教師を複数派遣し、同職種隊員が連携・協力する活動を予定している。また、首都とアムハラ州にも複数のボランティアを派遣中である。	
	2)期待される具体的業務内容 1.理数科教員として主にGrade7,8(学齢は日本の中学1、2年生に相当)の授業を担当するか、ラボラトリーテクニシャン(実験プロモーター)として廃材や身近な物で教具を開発し、それらの教材が現地教師達の授業の中で効果的に導入されていくように働きかける。 2.十分な設備がない中で工夫した授業を示し、生徒の関心を引き出し、同僚教員がそれを実践できるように支援する。 3.管轄の教育機関や理数科教師ボランティアと連携し、現地教員を対象とする教員研修を持続的に実施する。 また、理科クラブ、環境クラブ、日本語クラブなどの自主課外活動も期待されている。	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 基本的な実験器具(ピーカー、フラスコなど)	

要 請 概 要	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長:40歳代(男性) 同僚:20~50代)※教員の異動は多い。	5)業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (アムハラ語)	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
------------------	--	---	---------------------------------------

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	・教諭免許 高・理
	性別理由:
	学歴理由:
	経歴理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		P	x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(温帯気候) 気温(15-30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし) 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)
------	--

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 9 月 4 日

要請番号(JL 506 - 10 - B - 21) 調査者名: 長谷 宏司

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エチオピア	職種 理数科教師 (コード 6901) 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	23 / 2
			3	23 / 3	年 月 日から

プログラム番号・名 5060000000004 プロジェクト名 初等教育のアクセスと質の向上

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) オロミア州政府教育局 (受入機関名)(英語) Oromiyaa Education Bureau
	2) 配属先名 (日本語) ボオテ小学校 (英語) Botee Elementary School
	3) 任地 メキ 首都(アジスアベバ)から 南東 方向 140 Km 主要都市(ボオラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 地方の中規模の街にある約2000名の生徒が通う小学校(1~8年生:7~14歳)。地域のセンター校となっている。外国の直接的な援助は同配属先にはない。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国の理数科教育は、設備や道具の不足などにより理論中心の授業が主流で、実験・観察などは重視されていない。同国教育省は、2006年に30%であった高校の理数科進学率を、2007年には70%、2008年には80%に高めるなど理数科教育を推進する方針をとってきたが、実験を指導できる教員は依然として不足している。そのため、小学校での指導や教員の人材育成を行う協力が要請された。オロミア州内の小学校へ理数科教師を複数派遣し、同職種隊員が連携・協力する活動を予定している。また、首都とアムハラ州にも複数のボランティアを派遣中である。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 理数科教員として主にGrade7,8(学齢は日本の中学1, 2年生に相当)の授業を担当するか、ラボラトリーテクニシャン(実験プロモーター)として廃材や身近な物で教具を開発し、それらの教材が現地教師達の授業の中で効果的に導入されていくように働きかける。 2. 十分な設備がない中で工夫した授業を行い、生徒の関心を引き出し、同僚教員がそれを実践できるように支援する。 3. 管轄の教育機関や理数科教師ボランティアと連携し、現地教員を対象とする教員研修を持続的に実施する。 また、理科クラブ、環境クラブ、日本語クラブなどの自主課外活動も期待されている。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 基本的な実験器具(ピーカー、フラスコなど)	

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長:40歳代(男性) 同僚:20~50代)※教員の異動は多い。	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (アムハラ語)	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル:) <input type="checkbox"/> (レベル:)
------------------	---	--	---

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	・教諭免許 高・理 性別理由:
	学歴理由:
	経験理由:
	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 車輜 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車		P	X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(温帯気候) 気温(15-30℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input checked="" type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
------	--



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 9 月 7 日

要請番号(JL 506 - 10- B - 22)	調査者名:長谷 宏司
-----------------------------	------------

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エチオピア	職種 理数科教師	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			3	23 / 3

プログラム番号・名 5060000000004 プロジェクト名
初等教育のアクセスと質の向上

配属先概要	1)受入省庁名(日本語) アムハラ州政府教育局 (受入機関名)(英語) Amhara Education Bureau
	2)配属先名 (日本語) デイレヒボオ小学校 (英語) Dilehibo Elementary School
	3)任地 バハルダール 首都(アジスアベバ)から 北西 方向 500 Km 主要都市(バハルダール)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.1 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) エチオピア最大の湖、タナ湖を有する地方の大規模な街にある、約1600名の生徒が通う広大な敷地を有する小学校(1~8年生:7~14歳)。現在、同配属先には外国の直接的な援助はない。

要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国の理数科教育は、設備や道具の不足などにより理論中心の授業が主流で、実験・観察などは重視されていない。同国教育省は、2006年に30%であった高校の理数科進学率を、2007年には70%、2008年には80%に高めるなど理数科教育を推進する方針をとってきたが、実験を指導できる教員は依然として不足している。そのため、小学校での指導や教員の人材育成を行う協力が要請された。アムハラ州内の小学校へ理数科教師を複数派遣し、同職種隊員が連携・協力する活動を予定している。また、首都とオロミア州にも複数のボランティアを派遣中である。		
	2)期待される具体的業務内容 1.理数科教員として主にGrade7,8(学齢は日本の中学1、2年生に相当)の授業を担当するか、ラボラトリーテクニシャン(実験プロモーター)として廃材や身近な物で教具を開発し、それらの教材が現地教師達の授業の中で効果的に導入されてゆくように働きかける。 2.十分な設備がない中で工夫した授業を示し、生徒の関心を引き出し、同僚教員がそれを実践できるように支援する。 3.管轄の教育機関や理数科教師ボランティアと連携し、現地教員を対象とする教員研修を持続的に実施する。 また、理科クラブ、環境クラブ、日本語クラブなどの自主課外活動も期待されている。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 基本的な実験器具(ピーカー、フラスコなど)		

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・教諭免許 高・理	性別理由:
		学歴理由:
		経歴理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車		P	x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(温帯気候) 気温(15-30℃位) 電気(□安定 ☒不安定 □なし) 電話(☒インターネット可 ☒通話可 ☒不良 □なし) 水道(□安定 ☒不安定 □なし)
------	---

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 3 月 17 日

要請番号(JL 506 - 10 - B - 23)	調査者名: 長谷宏司
------------------------------	------------

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エチオピア	職種 理数科教師 (コード 6901)	○新規	●2年	1	23 / 1
	指導科目				
ア	職種(英) Science & Mathematics Education	●交替	○1年	2	23 / 2
	指導科目(英)				
		2 代目	○ヶ月	3	23 / 3

プログラム番号・名 5060000000004 プロジェクト名
 初等教育のアクセスと質の向上

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) アムハラ政府教育局 (受入機関名)(英語) Amhara Education Bureau
	2) 配属先名 (日本語) コソバレ小学校 (英語) Kossober Primary School
	3) 任地 インジバラ 首都(アジスアベバ)から 北西 方向 450 Km 主要都市(ハハルダール)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 地方の街の小学校(地域のセンター校)で理数科の授業を担当する。また、ラボラトリーテクニシャンとしても廃品や身の回りの物を活用して教材を開発し、その普及を図ることが主な活動になる。現在外国の援助はない。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国の理数科教育は、設備や道具の不足などにより理論中心の授業が主流で、実験・観察などは重視されていない。同国教育省は、2006年に30%であった高校の理数科進学率を、2007年には70%、2008年には80%に高めるなど理数科教育を推進する方針をとってきたが、実験を指導できる教員は依然として不足している。そのため、小学校での指導や教員の人材育成を行う協力が要請された。対象となる地区の小学校へ理数科教師を複数派遣し、同職種隊員の連携・協力による理数科教師育成を目標とする。なお、前任者はラボラトリーテクニシャンとして理科実験室を担当している。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 理数科教員として主にGrade7,8(学齢は日本の中学1, 2年生に相当)の授業を担当するか、ラボラトリーテクニシャン(実験プロモーター)として廃材や身近な物で教具を開発し、それらの教材が現地教師達の授業の中で効果的に導入されていくように働きかける。 2. 十分な設備がない中で工夫した授業を示し、生徒の関心を引き出し、同僚教員がそれを実践できるように支援する。 3. 管轄の教育機関や理数科教師ボランティアと連携し、現地教員を対象とする教員研修を持続的に実施する。 また、理科クラブ、環境クラブ、日本語クラブなどの自主課外活動も期待されている。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 基本的な実験器具(ピーカー、フラスコなど)	

資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 20-50歳代の理数科教師数名	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ (アムハラ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
------	---	---------------------------------------	--

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	・教諭免許 高・理 性別理由:
	・経験 指導経験 学歴理由:
	理由: 授業や教員研修を実践するため

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		P	x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域	気候(温帯気候) 気温(10~25℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☑不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)
-----	---



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 5 日

要請番号(JL 512-10-B-21)

調査者名: 高部 信男

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ガーナ	職種 理数科教師	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			3	/

プログラム番号・名 5120000000002 プロジェクト名
 産業人材育成

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) 聖フランシス教員養成校 (英語) St. Francis' College of Education
	3) 任地 ボルタ州 ホホエ 首都(アクラ)から 北東 方向 230 Km 主要都市(ホホエ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 小・中学校教員を養成する3年制の学校。高校を卒業した学生を対象に、1~2年生は校内(全寮制)で、3年生は周辺の小・中学校で教育実習を行う。理数科目強化をめざした教員養成校。JOCVを含め、外国人の資金援助・人的援助は、今まで受けていない。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ガーナで策定された教育戦略計画の中で「教育の質の向上」が求められている。特に小・中学校の教授力の向上が求められているが、教員の質は十分とはいえない。 JICAでは2005年以降、現職教員政策実施支援計画(INSETプロジェクト)を実施し、小・中学校教員の質の向上、特に日本の優位性が認められる理数科目の向上を支援している。INSETプロジェクトが全国展開をしていく中で、理数科目の強化をめざす同校を新たな拠点に、プロジェクトとの相乗効果を狙い、ボランティアの要請となった。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 理科実験室を有効活用し、1・2年生の一般理科、選択理科を担当する。特に物理を担当。 (担当授業数は配属先との協議の上、決定) 2. 定期試験(ガーナ全土の教員養成校共通問題)の分析と対策指導を行い、合格率向上に努める。 3. 即戦力となる「教員の卵」に、教授法、及び教材に工夫を凝らすことで、学校現場で活かせるスキル伝授に努める。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ、理科実験室(実験器具並びに薬品)		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理数科担当教員:5名 指導対象:高校を卒業した学生たち	5) 業務使用言語 ◎ 英語 () ○ (エベ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・教諭免許 中高・理	学歴理由: 高等学校教員の要件が大卒のため
	・学歴 大卒 理系	経験理由: 教員養成校の指導であり教諭経験が必須
	・経験 実務経験 2年以上	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車	a		x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(熱帯) 気温(25-35℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
	電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 5 日

要請番号(JL 512 - 10 - B - 22)

調査者名: 高部 信男

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ガーナ	職種 理数科教師	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Science & Mathematics Education			3	/
				年 月 から	

プログラム番号・名 512000000002 プロジェクト名 産業人材育成

1) 受入省庁名(日本語) 教育省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Education

2) 配属先名 (日本語) ゼビラ高等技術学校
 (英語) Zebilla Secondary Technical School

3) 任地 アッパーイースト州 ゼビラ
 首都(アクラ)から 北 方向 860 Km
 主要都市(ボルガタンガ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 1982年創立の公立高校。生徒数706名、教員数40名、他に同国大卒者のインターンシップ制度であるナショナルサービスの臨時教員1名がいる。一般文系、一般理系、技術、家政の4コースがある。英国ボランティア(VSO)が2001~2008年の間、英語、数学、生物の科目で、数名派遣されていた。それ以降は、JOCVが1名理数科教師で派遣され、今回の要請に至っている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 2008年から前任JOCV(理数科教師)が活動し、生徒へ物理およびICTを指導してきた。同時に、陸上指導、成績表処理印刷システムの作成等、柔軟で積極的な活動が展開されてきた。学校が僻地にあること、理数科教員の不足、学校の規模が大きくないことから、個々の技量に応じ、多様な活動が展開され、その結果、生徒数が2年間で、500名から700名に拡大・発展してきている。その信頼を受け、数学でのJOCV要請があがってきた。

2) 期待される具体的業務内容
 1. 高校2年生の数学の授業を、週18時間、受け持つ。
 2. 卒業統一試験の分析、対策指導、学業成果向上に努める。
 3. その他学校の諸活動にも参画する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 コンピュータ室(稼働コンピュータ数台)、理科については、実験室は無いが、基本的な実験器具・薬品あり。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚教員: 数学担当4名(臨時教員含む) 指導対象: 中学を卒業した生徒たち(15~20歳)	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ (クッサル語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
---	---------------------------------------	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別	男性	性別理由: 住居環境(WC,シャワールームが共用)
学歴	大卒 理系	学歴理由: 高等学校教員の要件が大卒のため
経験	実務経験	経験理由:
		理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車	a		x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(サバンナ) 気温(20-40℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 5 日

要請番号(JL 512 - 10- B - 23)

調査者名: 高部 信男

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ガーナ	職種 理数科教師 指導科目	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	23 / 2
	3			/	

プログラム番号・名 5120000000002 プロジェクト名 産業人材育成

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) カジエビアサト高等学校 (英語) Kadjebi-Asato Senior High School
	3) 任地 ボルタ州 カジエビ 首都(アクラ)から 北東 方向 270 Km 主要都市(ホホエ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1959年創立の全寮制高校。生徒数1209名、教員数50名、その他職員が40名の大規模校。年間予算は約5千万円。2000~2006年の間、3名のJOCVが派遣されていた。現在、外国人ボランティアは受け入れていない。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 2000~2006年、3代のJOCV(理数科教師)が活動し、大きな発展を遂げてきた学校である。卒業統一試験の成果は優秀で、理数科目がより改善することで学校の発展を狙っているところに要請理由がある。 学校敷地面積が大変広いことから、スポーツでの貢献、農業への貢献を求めている側面もある。 将来は、大学に移行する計画のある学校である。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 高校1~2年生の理数科目の授業を受け持つ(配属先との相談の上、得意な科目を受け持つ)。 2. 卒業のための統一テストが実施されているので、その試験分析、試験対策のための指導を行う。 3. 課外活動(日本の学校の部活動のようなもの)に参画する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科実験室(設備・備品は完備)、コンピュータ室(PC50台)		

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚教員:理数科担当4名 指導対象:中学を卒業した生徒たち(15~20歳)	5) 業務使用言語 ◎ 英語 () ○ (エベ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
------------------	--	-------------------------------------	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	・学歴 大卒 理系	性別理由:	
	・経験 実務経験	学歴理由: 高等学校教員の要件が大卒のため	
		経験理由:	
	理由:		
	理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車	a		x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(熱帯) 気温(25-35℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし) 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)
------	--



平成 22年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 7月 5日

要請番号(JL 512 - 10- B - 24)

調査者名: 高部 信男

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ガーナ	職種 理数科教師	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Science & Mathematics Education			3	/
	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 5120000000002 プロジェクト名 産業人材育成

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) ノートルダムセミナリー高等学校 (英語) Notre Dame Seminary Senior High School
	3) 任地 アッパーイースト州 ナブロンゴ 首都(アクラ)から 北 方向 860 Km 主要都市(ボルガタンガ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1960年創立のカトリック系全寮制男子高校。生徒数292名の小規模校。同国トップの学業成果を誇る進学校。教員数18名、同国大卒者のインターンシップ制度であるナショナルサービスの臨時教員(生物)1名、その他職員が9名いる。1998年、2001年にそれぞれ、英国ボランティア(VSO)数学教員を受け入れている。JOCVの派遣実績はない。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 規律を重んじ、教育展開しているカトリック系高校として優秀な人材を輩出している。生徒たちがJOCVをとおして国際的な関わりをもち、多様な考え方を吸収していくことについて、意義が大きいと捉えている。すでに学力面では相当な指導力を持った教員層をもち、生徒側も吸収力が十分ある。それに応えるだけの教育スキルをもったボランティアの派遣が要望されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 高校2~3年生の理数科目の授業を受け持つ(配属先との相談の上、得意な科目を受け持つ)。 2. 卒業のための統一テストが実施されているので、その試験分析、試験対策のための指導を行う。 3 課外活動(日本の学校の部活動のようなもの)に参画する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科実験室(設備・備品は整っている)		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚教員:理数科担当3名 指導対象:中学を卒業した生徒たち(15~20歳)	5) 業務使用言語 ◎ 英語 () ○ (カッセム語)	6) 選考指定言語 ☒ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	・学歴 大卒 理系	学歴理由: 高等学校教員の要件が大卒のため
	・経験 実務経験	経験理由:
	理由:	
	理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車	a		x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(サバンナ) 気温(20-40℃位)	電気(□安定 ☒不安定 □なし)
	電話(□インターネット可 ☒通話可 □不良 □なし)	水道(□安定 ☒不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 5 日

要請番号(JL 512 - 10- B - 25)

調査者名: 高部 信男

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ガーナ	職種 理数科教師 指導科目	○新規 ◎交替 3 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	23 / 2	
				3	/	

プログラム番号・名 5120000000006 プロジェクト名
 基礎教育改善

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) ダヒンシェリ中学校 (英語) Dahin Sheli Junior High School
	3) 任地 ノーザン州 タマレ 首都(アクラ)から 北 方向 660 Km 主要都市(タマレ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) タマレ市内にある私立ダヒンシェリスクールは、幼稚園・小学校・中学校の一貫教育を展開し、教育成果をあげている。外国人ボランティアは、JOCV以外、受け入れていない。2006年からJOCVが配属になり、本要請で3代目になる。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 初代隊員は、ガーナベスト教員(外国人の部)に選ばれ、同校の発展に寄与してきた。2代目JOCVも同様に、卒業統一試験の分析と対策、わかりやすい理科授業の実践を心掛けている。受け持ち授業数はあまり多くはないが、その分、積極的に補習授業を展開している。また、日本文化紹介にも力を入れている。過去二人の日本人の活動状況の良さから、引き続きJOCVの要請依頼があった。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 中学1~3年生の理数科目の授業を受け持つ(配属先との相談の上、得意な科目を受け持つ)。 2. 卒業のための統一テストが実施されているので、その試験分析、試験対策のための指導を行う。 3. 日本文化の紹介とその対応指導を行う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 指導教材(TLMs)の共有が可能		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚教員:理数科担当2名 指導対象:小学校を卒業した生徒たち	5) 業務使用言語 ◎ 英語 () ○ (ダビニ語)	6) 選考指定言語 ☒ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	・学歴 大卒 理系	学歴理由: 教員の要件が大卒のため
	・経験 実務経験	経験理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車	a		x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 地 況 域	気候(サバンナ) 気温(20-40℃位) 電気(□安定 ☒不安定 □なし) 電話(□インターネット可 ☒通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☒不安定 □なし)
------------------	---

平成 22年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 7月 5日

要請番号(JL 512 - 10 - B - 26)

調査者名: 高部 信男

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ガーナ	職種 理数科教師 指導科目	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1	23 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	23 / 2
				3	/
				年 月	から

プログラム番号・名 5120000000006 プロジェクト名 基礎教育改善

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名, (日本語) アクアピノース郡教育事務所 (英語) Akuapem North Education Office
	3) 任地 イースタン州 アクロボン 首都(アクラ)から 北東 方向 50 Km 主要都市(アクラ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) アクアピノース郡における学校教育全般にわたる管理、及び小中学校の現職教員研修を管轄している。郡事務所の管轄はサーキットと呼ばれるいくつかの学区に分割され、管轄下の小中学校はそのいずれかのサーキットに属している。2009年から2名のJOCV小学校教諭隊員が受け入れられ、サーキットスーパーバイザー(指導主事)との協力のもと、巡回指導が行われている。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ガーナで策定された教育戦略計画の中で「教育の質の向上」が求められている。特に小・中学校の教授力の向上が求められているが、教員の質は十分とはいえない。 JICAでは2005年以降、現職教員政策実施支援計画(INSETプロジェクト)を実施し、小・中学校教員の質の向上、特に日本の優位性が認められる理数科目の向上を支援している。当郡はINSETプロジェクトのパイロット郡であり(現在INSETは全国展開中)、教育拠点でもあることから、プロジェクトとの相乗効果を狙い、JOCVの要請となっている。前任者同様、ホームステイをしながら任地に溶け込み活動成果をあげていく。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 教育事務所が選定した小・中学校を巡回し、児童・生徒に対して、理科(物理か化学)ないし数学のわかりやすい授業・実験を実践し、その方法を教員に紹介する 2. 他の派遣隊員と連携し、授業研究や教材研究のワークショップを開催する。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 現地で得られる理科実験材料を工夫して利用する	

資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 指導対象者: 巡回先の小・中学校の児童・生徒(9~15歳) 教員(20歳代~50歳代)	5) 業務使用言語 <input checked="" type="radio"/> 英語 () <input type="radio"/> (チュイ語)	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル:) <input type="checkbox"/> (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・教諭免許 中・理 性別理由: ・学歴 大卒 理系 学歴理由: ・経験 実務経験 経験理由: 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 車輦 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車	a		x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
 概地況 気候(熱帯) 気温(25-35℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 7 月 5 日

要請番号(JL 512 - 10- B - 27)

調査者名: 高部 信男

国名	職種/指導科目 (コード 6901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ガーナ	職種 理数科教師	○新規 ◎交替 3 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education			2	23 / 2	
指導科目(英)	3	/				
プログラム番号・名 5120000000002		プロジェクト名 産業人材育成				

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) ナブロンゴ高等学校 (英語) Navrongo Senior High School
	3) 任地 アッパーイースト州 ナブロンゴ 首都(アクラ)から 北 方向 860 Km 主要都市(ボルガタンガ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1960年創立。生徒数1283名(うち女生徒366名)。教員数58名。大卒者のインターンシップ制度であるナショナルサービスの臨時教員17名、その他職員が7名いる。2002年、2004年にそれぞれ、英国ボランティア(VSO)の数学教員とICT教員を受け入れている。JOCVの派遣実績は1981~2010年まで累計7代の隊員が派遣された。大規模な高校で、地域で第二の進学校との評判。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 地域において、重要な拠点となる高校である。理科実験室も完備し、リソースセンターとしての働きを兼ね備えている。前任者は、テストを実施し、詳細なデータ分析をし、フィードバックを行い、生徒の学力向上に努めてきた。生徒たちとの信頼関係も厚く、日本の高校生との文通による交流を実現させるなど、熱心な教育と交流活動を展開してきた。このため、引き続きJOCVを派遣してほしいとの要望に至った。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 高校1~3年生の理数科目(物理もしくは化学)の授業を受け持つ。 2. 卒業のための統一テストが実施されているので、その試験分析、試験対策のための指導を行う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科実験室(設備・備品は完備)		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚教員:理数科担当5名 指導対象:中学を卒業した生徒たち(15~20歳)	5) 業務使用言語 ◎ 英語 () ○ (カッセム語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・教諭免許 高・理	性別理由:
	・学歴 大卒 理系	学歴理由:
	・経験 実務経験	経験理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輜 ○単車 ○自転車	a		x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(サバンナ) 気温(20-40℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
	電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 5 日

調査者名: 高部 信男

要請番号(JL 512 - 10 - B - 28)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ガーナ	職種 理数科教師 (コード 6901)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Science & Mathematics Education			3	/
	指導科目(英)				年 月 日から

プログラム番号・名 5120000000006 プロジェクト名
 基礎教育改善

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) アダンシノース郡教育事務所 (英語) Adansi North Education Office
	3) 任地 アシヤンティ州 ドンボアセ 首都(アクラ)から 北西 方向 300 Km 主要都市(クマシ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) アダンシノース郡における学校教育全般にわたる管理、及び小・中学校の現職教員研修を管轄している。郡事務所の管轄はサーキットと呼ばれるいくつかの学区に分割され、管轄下の小・中学校はそのいずれかのサーキットに属している。2008年から2名のJOCV小学校教諭隊員が受け入れられ、サーキットスーパーバイザー(指導主事)との協力のもと、巡回指導が行われてきた。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ガーナで策定された教育戦略計画の中で「教育の質の向上」が求められている。特に小・中学校の教授力の向上が求められているが、教員の質は十分とはいえない。 JICAでは2005年以降、現職教員政策実施支援計画(INSETプロジェクト)を実施し、小・中学校教員の質の向上、特に日本の優位性が認められる理数科目の向上を支援している。当郡はINSETプロジェクトのパイロット郡であり(現在INSETは全国展開中)教育拠点であることから、プロジェクトとの相乗効果を期待しての本隊員の要請となっている。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 教育事務所が選定した小・中学校を巡回し、児童・生徒に対して、理科(物理か化学)ないし数学のわかりやすい授業・実験を実践し、その方法を教員に紹介する 2. 他の派遣隊員と連携し、授業研究や教材研究のワークショップを開催する。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 現地で得られる理科実験材料を工夫して利用する	

要 請 概 要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 指導対象者: 巡回先の小・中学校の児童・生徒(9~15歳)、 教員(20歳代~50歳代)	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ (チュイ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
------------------	--	--------------------------------------	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	・教諭免許 中・理	・性別 男性	性別理由: 他の男性隊員と共同生活のため
	・学歴 大卒 理系		学歴理由:
	・経験 実務経験		経験理由:
		理由:	
		理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車	a		x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(熱帯) 気温(25-35℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
	電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 5 日

要請番号(JL 512 - 10 - B - 29)

調査者名: 高部 信男

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ガーナ	職種 理数科教師 (コード 6901)	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education			2	23 / 2	
指導科目(英)	3	/				

プログラム番号・名 5120000000002 プロジェクト名
 産業人材育成

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) ジニジニ高等学校 (英語) Jinijini Senior High School
	3) 任地 ブロンゴアハフォ州 ジニジニ 首都(アクラ)から 北西 方向 400 Km 主要都市(スニヤニ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1992年創立。生徒数1200名。教員数44名。JOCVは1992～2000年まで4代の隊員が派遣された実績がある。現在、海外ボランティアは受け入れていない。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 大規模校でありながら地方部にあるため教員数が依然として足りない上、理科実験室は無く、リソースセンター校との距離も遠い状況下にあり、あらためてJOCVの要請となった。		
	2) 期待される具体的業務内容 1.主に高校の化学の授業を受け持つ(学年・授業時間数は配属先との相談で決定する)。 2.卒業統一試験の分析、対策指導、学業成果向上に努める。 3.学校行事を含め、各種活動において、同僚教員と協力し、参画する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 実験室は無いが、使用できる実験器具・薬品はある(PTAの支援) PC、プロジェクター		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚教員:理数科担当4名 指導対象:中学を卒業した生徒たち(15～20歳)	5) 業務使用言語 ◎ 英語 () ○ (チュイ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	・学歴 大卒 理系	学歴理由:
	・経験 実務経験	経験理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輜 ○単車 ○自転車	a		x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(熱帯) 気温(25-35℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
	電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)